

OSAKA
UNIVERSITY
OF HEALTH



大阪体育大学

スポーツ科学部・教育学部

UNIVERSITY
GUIDE

2024

AND SPORT
SCIENCES



本物を学び、極める

大阪体育大学
OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES

広報室 | 〒590-0496 大阪府泉南郡 熊取町 朝代台1-1
TEL 072-453-7021 FAX 072-453-8818

ホームページ
<https://www.ouhs.jp/>



入試情報サイト
<https://www.ouhs.jp/myushi/>



SNS

@ouhs.kouho @OUHSPR
@daitaidaikoho @daitaidai



大学基準協会認定
大阪体育大学は、
公益財団法人大学基準協会の
正会員校です。



2024年、 体育学部は スポーツ科学部へ

大阪体育大学は日本を代表する「スポーツの総合大学」です。競技スポーツ、コーチング、保健体育、スポーツ心理、スポーツマネジメント、トレーニング、コンディショニング、健康など幅広いスポーツ科学の領域をカバーし、知の最高峰である大学院・スポーツ科学研究科へとつながり、最先端の研究と学術面での一貫教育に取り組んでいます。1965年の開学以来、西日本初の体育大学として多くの学生を各界に輩出してきました。

2024年、体育学部は「スポーツ科学部」へ生まれ変わります。確かな情報やデータに基づく科学的な視点からスポーツの学びを深めていきます。「スポーツ教育」「体育科教育」「スポーツ心理・カウンセリング」「スポーツマネジメント」「アスレティックトレーニング」「健康科学」という6つのコースから専攻を入学後に選べる仕組みに変革。さらに副専攻制度も導入。より幅広く実践的に「スポーツを科学する」学びを通じて、豊かな創造力と挑戦心で未来を切り開く人材を養成します。

こう変わるスポーツ科学部



どうなるスポーツ科学部

- ・専攻コースは2年次後期から。入学後幅広く学んだ後、6コースから選択
(コースには定員があります)
- ・所属コース以外の科目も副専攻として履修OK
- ・体育学部が育んだ歴史と研究のDNAを継承

詳細は
18
ページ

CONTENTS

04 4つのAdvantage	27 アスレティックトレーニングコース	53 就職サポート
07 STUDENT VOICE	29 健康科学コース	59 施設紹介
11 GRADUATE VOICE	33 教育学部	65 クラブ紹介
15 スポーツ科学部	37 小学校教育コース	73 大学院
19 スポーツ教育コース	39 保健体育教育コース	77 行事予定
21 体育科教育コース	41 幼児教育コース	79 アクセス
23 スポーツ心理・カウンセリングコース	43 特別支援教育コース	81 大体大のサポート／学費・奨学金
25 スポーツマネジメントコース	47 教員研究紹介	83 本学OBの研究者と語り合う／スポーツ系学部の未来

本物を学び、極める

スポーツに打ち込む。スポーツ科学を探究する。教える力を養う。

これらを極めていくプロセスは、

あなたが秘める可能性を飛躍的に伸ばしていきます。

かつてあこがれていたあの人のようになりたい。

尊敬するあの先生のようにになりたい。

充実したスポーツ施設、熱く親身な教員、スタッフ。

あなたが夢をかなえるための本物の環境が、

大阪体育大学には整っています。

【歴史】開学から58年、25,000人の卒業生を輩出 [詳細はこちら](#)



1965年 大阪体育大学(体育学部体育学科)開学
1970年 体育専攻科開設
1981年 産業体育研究所設立
1982年 新学舎、新体育館完成(茨木)
1989年 熊取学舎竣工
1992年 大学院修士課程(体育学研究科)開設
1997年 体育学部 生涯スポーツ学科開設
1999年 情報処理センター設置
2001年 大学院 博士後期課程(スポーツ科学研究科)開設。診療所設置
2002年 トレーニング科学センター設置
2003年 健康福祉学部開設

2005年 産業体育研究所を生涯スポーツ実践研究センターに名称変更
2006年 スポーツ教育学科、健康・スポーツマネジメント学科を新設
2013年 教職支援センター設置
2015年 教育学部開設(教育学科)
2017年 生涯スポーツ実践研究センターと健康福祉実践研究センターが合併し、社会貢献センターとして始動
2018年 健康福祉学部閉学。大阪体育大学スポーツ局を設置
2021年 国際交流センターを設置
2024年 体育学部をスポーツ科学部に改組

4つの

Advantage



昨春、卒業生に実施したアンケートでは「総合的にみて本学に入学して良かったと思いますか？」との質問に、体育学部(2024年度からスポーツ科学部)は97%、教育学部は99%の学生が「はい」と回答しました。卒業生の高い満足度を支えているのが、本学が誇る「4つのアドバンテージ」です。スポーツ科学と教える力を深く極める「学び」。手厚い支援であなたの成長につなげる「就職」。充実度全国トップ級の「施設」。高い志を持って切磋琢磨し、世界を舞台にする指導者も多数在籍する「クラブ」。大体大が全国に誇る強みを紹介します。

01 学び

02 就職

03 施設

04 クラブ



01
学び

「スポーツ科学」と「教える力」を深く学べるカリキュラム。教員との距離の近さが際立ち、「面倒見の良さ」が伝統です。

スポーツ科学に関する授業の質は講義も実技もハイレベル。大学院での最先端の研究成果を授業に活かしています。教育学部は約9割、体育学部(2024年度からスポーツ科学部)は約6割が教員免許を取得するなど「教える力」を磨く環境が整っています。高い教員採用試験合格率につながっているほか、「教える力」は企業人、公務員としても必要不可欠の資質です。学習支援室によるマンツーマン指導など基礎学力の向上と各種採用試験の合格に向けた支援も充実。文武両道を目指したクラブ生への学修支援は、大学スポーツ協会(UNIVAS)から最優秀賞を受賞しました。

また、学生と教員の距離感が近く、親身な指導と「面倒見の良さ」が伝統です。

▶▶▶ 15ページ



03
施設

6専用体育館と多数の競技場が1キャンパスに集中。専用施設の充実度は全国トップ級。

熊取キャンパスには競技別の専用体育館6棟と陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、野球場、屋内野球練習場、テニスコートなどがそろい、スポーツ専用施設の充実度は全国でトップクラスです。スポーツと教育・研究のすべての施設が1キャンパスに集中、クラブ生にとって午後4時過ぎまで授業、その後すぐにクラブと、朝から晩まで1つのキャンパスで過ごせる点は大きなメリットです。身体を鍛え、ケアする施設もトップ級。最新鋭マシン約40台が並ぶS&C(ストレンクス・アンド・コンディショニング)ルームは元プロ野球コーチが指導し、アスレティックトレーニング(AT)ルームの設備も充実。診療所の医師常駐も全国的に極めてまれです。スポーツカウンセリングルームではプロ、日本代表選手も指導する専門スタッフが親身に対応します。

▶▶▶ 59ページ



02
就職

教員採用現役70人、既卒115人合格。企業の人事も高評価で、警察官・消防官など公務員に強い。サポートの手厚さに自信があります。

教員の志望者は教職支援センターが、企業や公務員はキャリア支援センターが徹底サポート。学生一人ひとりに寄り添う日本一のキャリア支援を目指しています。

公立学校の教員採用試験は元校長など多彩な教員、スタッフが面接指導などを徹底し、過去最多の延べ70人が現役合格(2023年度採用)。さらに、既卒者も115人が合格しました(3月末現在)。企業では、人事担当者から「粘り強さ、リーダーシップ」など大体大生の高い評価が定着。実習やゼミ、インターンシップ、クラブなどを通じた人間形成が活きています。公務員試験(警察官、消防官、自衛官、行政職など)は教養試験対策を基礎講座でしっかり積み、3年連続過去最多となる延べ90人が合格。消防官就職率は令和2年度採用では全国1位(4.7%※)となりました。

※東洋経済新報社刊「本当に強い大学2020」

▶▶▶ 53ページ



04
クラブ

プロ・実業団に38選手。日本代表級の指導者ら専門教員が連日指導。

全学生の7割以上がクラブに所属。プロ・実業団に38選手が進みました(2021年度卒業生)。同じ志を持った友人との切磋琢磨で磨かれた人間力は、卒業後もあなたを支える重要な資質になります。また、日本代表など世界を舞台に戦ってきたクラブ指導者も多数在籍。強化クラブを中心に指導者の大半は専門の教員なので、競技力だけでなく勉学、生活態度にも目を配り、ほぼ連日指導。学生間や指導する教員と学生との間に強い人間関係が育まれます。全クラブの統括組織として、全国に先駆けてスポーツ局を創設。育成・強化に加えて、修学、キャリア形成、生活も支援しています。

▶▶▶ 65ページ

STUDENT VOICE.01

TAKE A STEP

夢の実現のためには
スポーツの楽しさを
幅広い世代に伝えていきたい

体育学部 スポーツ教育学科 コーチ教育コース 3年 青木 唯 さん(大阪府立登美丘高等学校出身)

小学生の頃から体を動かすことが好きで体育教師になることが夢でした。夢の実現のためには苦手だった球技を克服したいと思い、大阪体育大学に入学しました。大学ではアダブテッド・スポーツ部に入学し、車椅子バスケットボールやアルティメットなどに取り組み、車椅子ハンドボールでは「第



20回 日本車椅子ハンドボール競技大会」に出場して優勝しました。
コーチ教育

コース(2024年度からスポーツ教育コース)では、今まで深く関わってこなかったスポーツに触れる機会が多くあります。どれも、本格的に取り組むため、初めての競技であってもスキルアップすることができます。また、教育実習では中学校に行きましたが、生徒1人ひとりの成長度合いや理解度に合わせた指導に苦労し、改めて、教えることの難しさを身を持って体感しました。入学前は授業についていけない不安でしたが、各科目の先生方や、互いに高め合えるクラスメイトの存在に助けられています。

将来は、私が最も成長することができたスポーツにかかわり、子どもから大人の幅広い世代に「スポーツの楽しさ」を伝えたいと思っています。

STUDENT VOICE.02

TAKE A STEP

意識の高い仲間とともに
学べる環境が魅力的です

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 スポーツマネジメントコース 3年 川崎 寛太さん(滋賀県立草津東高等学校出身)

幼い頃に始めたサッカーを大学でも続けたいという思いから、大阪体育大学に進学。入学前から体育分野について幅広く学びたいと思っていたので、様々なスポーツを得意とする学生が全国から集まっていることに魅力を感じていました。サッカー部に所属して活動していくなかで、何事にも学ぶ姿勢を意識することができました。キャンパスはつねに活気づいていて、人が良い仲間ばかりでスポーツや学びに集中できる良い環境です。

「インターンシップ実習」では、担当の先生に繋いでいただいてプロサッカーチームでインターンシップをさせていただきました。試合の裏側を支えたり、グッズ制作に携わるなど、今まで意識したことのない視点でプロサッカーチームの

運営について考え、貴重な経験をすることができました。

大阪体育大学では様々な目標を持った周りの仲間に感化されながら、しっかりとしたビジョンをもって取り組むことで、自身の将来に繋がる大切な4年間を過ごせます。これからの目標をしっかりと掲げながら頑張っていきます。



STUDENT VOICE.03

TAKE A STEP



地域の方とも繋がれる環境に
やりがいを感じています

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 健康スポーツコース 3年 青山 由宇 さん(徳島県立徳島北高等学校出身)

幼い頃から野球をはじめ、大学でも硬式野球部を続けたいという一心で、大学野球での実績がある大阪体育大学へ。スポーツだけでなく、地域との繋がりを大切にしながら社会貢献に取り組みたいと思い、健康・スポーツマネジメント学科を選びました。熊取町周辺の地域の方を対象にした「体力若返り講座」での運営サポートにも参加しています。参加者は60代前後の方が多く、エアロビクスやダンスなどで体を動かしながら運動不足の解消などに繋がっています。地域の方と積極的にコミュニケーションを取れていることにやりがいを感じます。

硬式野球部でも、トップチームのメンバーとして試合に出場し活躍することもできました。日頃から野球に集中できる環境

や施設が整っており、チームでは100名を越える部員たちと切磋琢磨しながら成長し合えます。将来は助けを求めている人の命を救う消防士をめざして、公務員試験に力をいれて頑張ります。



STUDENT VOICE.04

TAKE A STEP



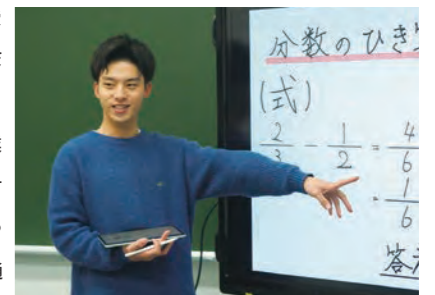
子どもたちに考える機会を
与えられる先生をめざします

教育学部 教育学科 小学校教育コース 3年 當房 樹 さん(鹿児島県立鹿児島南高等学校出身)

小学校教員免許と中学校・高等学校の保健体育教員免許を、同時取得できることに魅力を感じて大阪体育大学へ。入学後は、小学校教員として必要になる5教科の概論や教育法などをはじめ、図画工作や生活科などより深化した教科も専門的に学ぶことができました。小学生に教えるということを前提にロールプレイングを行いながら、どのように教えたらより理解を深めてもらえるかを話し合う機会も多くありました。

教育実習では小学校での実習で、算数の授業を担当させていただく機会がありました。授業では「分数」を題材に、先生である私自身があえて間違えることで、子どもたちに考える機会を与えようと考えていました。また、板書ではなくタブレット端末やプロジェクターなどを全面に活用した「ICT教育」を取り

入れながら授業を展開しました。大学の授業では、先生方の体験談や模擬授業を通して、教員の立場や目線に立って考えることができました。培ってきた経験を糧に、将来は鹿児島で先生になれるように教員採用試験に向けてがんばります。





卒業生の声

GRADUATE VOICE.01

TAKE A STEP

プロサッカー選手（シント＝トロイデンVV所属）
林 大地 さん
体育学部 スポーツ教育学科 卒業

より高いサッカーレベルを求めて、
大阪体育大学へ。

幼い頃から始めたサッカーの魅力に惹き込まれ、より高いレベルの環境を求めて大阪体育大学へ。施設のレベルが高く、意欲の高い仲間とともに切磋琢磨できる恵まれた環境でした。体育大学ならではの実技の多さとクオリティの高い授業内容にも満足していました。

大学サッカーからプロの世界へ。
入団1年目からシーズン9得点をあげる大活躍。

サッカー部では、テクニカルな部分だけでなく、人との当たり方や体の使い方など、より質の高いサッカーをするための所作を一から教えていただきました。私自身、体が大きくないこともあり、試合で活躍するための「競りの技術」を4年間で学んだことはとても有意義でした。卒業後はプロの世界へ飛び込むこととなり、「サガン鳥栖」へ。監督の指導のもと、新たな視点に気づくことができ、サポーターに支えられながら、入団後からプロ1年目でシーズン9得点を挙げることができました。

常に最高の準備をし続けるために、
活躍の舞台は日本から世界へ。

2021年にベルギーのシント＝トロイデンVVへ移籍しました。海外では、チームとしての一体感以上に、個のスキルをどれだけアピールできるかが重要です。世界で戦うためのステップアップをめざしていくとともに、サッカーを長く続けていきたいと考えています。2026年のワールドカップに出場したい。日本代表に選ばれるためにチームで結果を出し、代表に選ばれたら、そこで点を取り続けたいとW杯には出られません。常に最高の準備をし続けていくことが重要です。

高校の3年間ではプロという夢はかないませんでしたが、大学という次のステージに進み、信頼できる仲間やコーチに出会い、プロを目指す環境に身を置くことができ、大学生活の4年間はサッカー人生の分岐点になりました。皆さんも大阪体育大学で、夢をかなえるスタートラインに立ってほしいと思います。

GRADUATE VOICE.02

TAKE A STEP

和歌山県和歌山東警察署
笹村 里緒 さん
教育学部 教育学科 卒業

教育実習先の小学校で不登校の女の子に出会いました。児童虐待の被害に遭っていることが分かりましたが、当時の私にはどうすることもできませんでした。そのような子どもを救いたいと考えようになり、警察官になることを決意しました。大学のキャリア支援センターに毎日通って面接練習などを重ね、合格できました。

6ヶ月間の警察学校での訓練の後、令和3年から2年間湯浅警察署（現・有田湯浅警察署）、今年から和歌山東警察署の地域課で勤務しています。事件や事故が発生すれば現場急行して対応に当たり、警察を頼って相談に来られた方には親身に対応します。県民の方から「ありがとう」と言って頂いた時は、本当に警察官になってよかったと実感します。

将来は生活安全課の少年係で、さまざまな原因から犯罪に巻き込まれてしまう子どもたちを助けたいと思っています。



GRADUATE VOICE.03

TAKE A STEP

大阪府貝塚市消防本部
消防官
弥園 晃太 さん
体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 卒業



大学2年の時、ソフトボール部の練習中に友人が肩を脱臼し、119番通報しました。到着した救急隊員の冷静沈着で、動揺した自分たちを落ち着かせてくれる姿に憧れて消防官を志望しました。

消防本部では、救急や消火活動で1カ月に平均で30～40件ほど出動します。通信指令としてマンション火災の119番通報を受けた後、自分もその現場に出動し消火にあたったこともあります。一方で総務課の消防団担当として、9分団約220人が在籍する消防団の事務局業務も務めています。熱中症などで救急搬送した方が元気になるあいさつに来られた時などは、とてもやりがいを感じます。大学のグラウンドで会った救急隊員のように、どんな現場でも落ち着いて、皆さんに安心してもらえるような消防官を目指します。

GRADUATE VOICE.04

TAKE A STEP

京都府立綾部高等学校 保健体育科 教員
安達 未来 さん
体育学部 スポーツ教育学科 卒業

親が空手の道場を開いていたことから、幼い頃から空手に取り組みました。上達するスピードも早かったため、人に教える機会が多くあり、その頃から教員をめざすようになりました。高校教員として働くなかで、授業だけでなく、陸上部の顧問として生徒を指導しています。生徒の気持ちに寄り添いながら、意欲を高めるための積極的なコミュニケーションを心がけています。大阪体育大学在学中には、ライフセービング部に所属。そのご縁が繋がって現在でも、毎年夏にはライフセーバーとして海に遊びに来る人の安全を守っています。大阪体育大学で学んだことや出会いが今にも繋がって、充実した日々を過ごすことができます。



GRADUATE VOICE.06

TAKE A STEP

オリックス・バファローズ
コンディショニンググループ
トレーニング担当

鈴川 勝也 さん
体育学部 スポーツ教育学科 卒業
大学院 スポーツ科学研究科 修了

大阪体育大学へは教員をめざして入学したのですが、ゼミでスポーツ科学について研究を深めるなかでより多くのことを学びたいと思うようになり、卒業後は単身アメリカへ。周囲と比べると珍しい進路選択でしたがキャリア支援センターの方々が親身になってサポートしてくださったこともあり、不安を感じずに留学することができました。留学後は、大阪体育大学の大学院へ進み、自分の研究をさらに深めました。現在はプロ野球チームのオリックス・バファローズで2軍のトレーニング担当として多くの選手をサポートしています。選手一人ひとりの話を聞き、選手に寄り添ったトレーニングやリハビリ指導を心がけています。2022年シーズンには、チームとして日本一を達成することができました。今後も選手が活躍できるための、より良いリハビリ・トレーニングを追求し続けていきたいと考えています。



GRADUATE VOICE.05

TAKE A STEP

デサントジャパン株式会社
デサントマーケティング部門
デサントマーケティング2部
カテゴリーマーケティング1課

三好 さくら さん

体育学部
健康・スポーツマネジメント学科 卒業

就職活動を通じて「幅広い方々にスポーツの素晴らしさを伝える仕事に就きたい」と考えるようになり、スポーツメーカーへの就職を希望。念願のデサントジャパン株式会社に入社しました。現在は男子Vリーグで活躍しているチームのユニフォームに関する業務に携わっています。

社内のデザインチームや営業チームなどと打ち合わせを重ね、チームが掲げている理念やテーマに沿ったユニフォームになるよう心がけています。プロモーション活動の一環としては、アドバイザースタッフ（商品開発の助言や商品PRを支援いただく弊社契約のスポーツ選手）にウェアを着用いただき、撮影に立ち会うなど、企画から販売まで幅広く関わる仕事ができていることにやりがいを感じています。今後もより多くの方にスポーツの魅力を感じていただけるよう取り組んでいきます。

※所属は2023年3月現在

GRADUATE VOICE.07

TAKE A STEP

幼児活動研究会株式会社・コスモスポーツクラブ
平井 勝也さん
体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 卒業

子どもたちの体づくりをサポートする「体育の先生」として定期的に幼稚園や保育園を訪れています。事前に年齢に応じたメニューを組み立てて、いかに子どもたちのやる気を引き出すかを考えて工夫をしています。子どもたち自身の運動に対する苦手意識が芽生えるまでに、体を動かすことの喜びを感じてもらいたいと思っています。1年間を通して、子どもたちの成長を見届けることができるのも、この仕事をしていてのやりがいと感じています。保護者の方にも、お家でのお子様のご様子やご満足いただけているお声を聞かせてもらえるとこちらも嬉しい気持ちになります。これからも子どもたちの成長を喜びながら、ステップアップをめざして頑張りたいと思っています。

※所属は2023年3月現在 14





NEW スポーツ科学部

スポーツ教育コース P19

体育科教育コース P21

スポーツ心理・カウンセリングコース P23

スポーツマネジメントコース P25

アスレティックトレーニングコース P27

健康科学コース P29

スポーツ科学部は2024年4月、体育学部の組織を改正するかたちでスタートします。

スポーツ教育学科と健康・スポーツマネジメント学科が統合され、スポーツ科学科が誕生。学生は入学後にスポーツ科学の概要に幅広く触れた後、6つのコースの中から専攻コースを選択します（各コースには定員があります）。

スポーツ科学部では中学・高校保健体育の教員免許をはじめ、国家資格を含む20種以上の免許・資格が取得可能。卒業後の進路も教育、指導者、一般企業、アスリート、スポーツチーム、公務員、生涯スポーツ、カウンセリング、医療・福祉、研究などの各分野に広がっています。

NEW スポーツ科学科

スポーツ科学の幅広い領域を網羅し
指導者、教育者、スポーツをする、見る、支える人材
さらに広く社会の発展に寄与できる資質を養う

社会がスポーツに求める役割は年々拡大しています。スポーツを科学的な理論に基づいて分析でき、実践的なスキルを修得した指導者や、スポーツを通して人間性・社会性の形成に貢献できる教育者のほか、運動・スポーツ活動による健康の維持・増進、スポーツ選手のコンディショニングや競技力の維持・向上、スポーツ・レクリエーション活動やスポーツ組織のマネジメントに関する知識と技術を持った人材、さらにはスポーツ科学の学びの成果を活かして広く社会に貢献できる人材が求められています。

スポーツ科学科では、このような人材を養成し、さらに、トップレベルのアスリートの競技力向上を通じて得られた知見を地域に還元し、スポーツを「する」「みる」「支える」「つくる」を主体的に科学します。1年次及び2年次前期に教養、専門基礎科目を幅広く学び、2年次後期から6つのコースに分かれて専門的な学修に取り組むことで、スポーツを科学的な手法を用いて主体的に探究できる資質を養います。



▼スポーツ科学科の特色

1 | 全国でもまれな副専攻による知の融合

全国の体育、スポーツ系の大学では極めて珍しい副専攻を導入。専攻するコースとは別のコースの専門科目を履修できる。6コースはスポーツ科学をほぼ網羅し、「スポーツ心理に詳しい保健体育科教員」など幅広い知見を備えた人材を養成する。

2 | 専攻コースは入学後、6コースから選択

専攻コースへの所属は2年次後期から。大学で幅広く学びながら6コースから専攻を選ぶことができる(コースには定員があります)。また、すべてのコースで、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得できる。

3 | インターンシップなど実践を通してスポーツ科学を学ぶ

体育学部時代にインターンシップ等の現場実習で培われたスポーツ現場との幅広いネットワークがあり、インターンシップ実習、コーチング実習等の現場実習で、これらのネットワークを活かした実践的な学びを提供する。

4 | クラブ活動と連動したスポーツ教育

本学では約7割の学生がクラブに所属し、クラブの大半は優れた競技・指導実績を有する専任教員が指導。専用施設の充実度は全国でトップクラスで、そこで行うクラブでの活動が、授業で学んだ理論を実践する場として機能している。また、実技の授業も充実していて様々なスポーツのスキルアップが可能。さらに、これまで多くのプロスポーツ選手を輩出している。

5 | 大学院でスポーツを科学する学びを深化

体育・スポーツ系として関西で初めて創設された大学院スポーツ科学研究科には、博士前期課程・博士後期課程が設置され、ハイレベルの研究に間近に触れることができる。教員はスポーツ科学のスペシャリストで、卒業後はスポーツを科学する学びを大学院でさらに深めることができる。

6 | 体育学部で育んだ歴史と伝統の継承

本学は、1965年の開学以来西日本初の体育大学として多くの学生を輩出してきた。積み重ねて来た教育・研究のDNAは、新たなスポーツ科学部に受け継がれる。

取得可能な資格

■ … 所定単位修得で取得できるもの
□ … 所定単位修得のうえ、受験資格が与えられ試験合格で取得できるもの

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- レクリエーション・インストラクター (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- スポーツ・レクリエーション指導者 (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- レクリエーション・コーディネーター (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- 講道館柔道初段
- キャンプインストラクター (公社)日本キャンプ協会認定資格
- キャンプディレクター2級 (公社)日本キャンプ協会認定資格
- テニスコーチ1 (公財)日本スポーツ協会認定資格
- 水泳コーチ1 (公財)日本スポーツ協会認定資格
- テニスコーチ2 (公財)日本スポーツ協会認定資格
- 初級・中級パラスポーツ指導員 (公財)日本パラスポーツ協会公認
いずれも、障がい者のスポーツ振興と競技力向上にあたる指導者のための資格。
中級資格取得は10日以上、80時間以上の活動実績が必要。
- JATIトレーニング指導者(基礎資格) (特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会(JATI)認定資格
一般人からトップアスリートまでを対象にトレーニング指導ができる資格。
- JPSUスポーツトレーナー (一社)全国体育スポーツ系大学協議会認定資格
スポーツ外傷・傷害の予防や救急処置、コンディショニング調整、トレーニング指導などの身体づくりの専門的知識・技術を修得することにより与えられる資格。
- 競泳コーチ3 (公財)日本スポーツ協会認定資格 学生会水上競技部所属が必要。
- 第一種衛生管理者免許 国家資格 健康科学コースで取得可能。
- 健康運動指導士 (公財)健康・体力づくり事業財団認定資格 健康科学コースで取得可能。
- 公認アシスタントマネージャー (公財)日本スポーツ協会認定資格
スポーツマネジメントコースで取得可能。
- 公認スポーツプログラマー (公財)日本スポーツ協会認定資格
アスレティックトレーニングコース/健康科学コースで取得可能。
- 公認アスレティックトレーナー (公財)日本スポーツ協会認定資格
アスレティックトレーニングコースで取得可能(履修者数制限あり)。
卒業所要単位及び必要な単位を修得し、有資格者の管理のもと、180時間以上の現場実習を行うことで日本スポーツ協会の講習会が免除され検定試験の受験資格が得られます。
- JFA公認C級コーチ (公財)日本サッカー協会認定資格
スポーツ教育コースで取得可能(履修者数制限あり)。
公認C級コーチを取得すれば、公認サッカー指導員[(公財)日本スポーツ協会認定資格]も取得。
その他要件: 学生会サッカー部所属及び保健体育教員免許状の単位修得など、その他要件があります。

めざせる将来像

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 【学校・教育分野】 ● 中学校・高等学校教員(保健体育科) 【トレーナー分野】 ● アスレティックトレーナー ● 企業チーム所属トレーナー 【アスリート分野】 ● プロスポーツ選手 ● 実業団選手 【生涯スポーツ分野】 ● 地方公共団体のスポーツ施設 ● 幼児体育施設 ● スポーツ財団法人 【指導者・コーチ分野】 ● コンディショニングコーチ ● 各種スポーツ団体指導者 ● 地域スポーツ指導者 【公務員分野】 ● 警察官 ● 消防官 ● 行政職 ● 刑務官 ● 自衛官 | <ul style="list-style-type: none"> 【スポーツビジネス分野】 ● スポーツイベントプロデュース ● プロスポーツマネジメント ● スポーツ用品製造・販売 【マスメディア分野】 ● 新聞社 ● テレビ局 ● 出版社 ● スポーツライター 【一般企業分野】 ● 営業・販売部門 ● 商品企画開発部門 ● 宣伝・広報部門 【カウンセリング分野】 ● スポーツカウンセラー 【医療・福祉分野】 ● 医療機関 ● 福祉施設 ● 健康増進施設 【研究者分野】 ● 大学教員 ● 企業等研究所 |
|---|--|

神戸親和大学との大学間協定に基づく小学校教諭一種免許状取得プログラム [スポーツ科学部]

本学は神戸親和大学との間で小学校教諭一種免許状取得の協定を締結しています。本学で勉強しながら神戸親和大学の通信教育とスクーリング(短期集中授業)を3年間もしくは2年間受け、所定の単位を修得することにより、小学校教諭一種免許状が取得できます。

※学内選考のうえ、推薦された者のみ受講でき、別途費用(60万円程度)が必要になります。※中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得を前提としたものであり、小学校教諭一種免許状のみの取得はできません。

スポーツ教育コース



スポーツ教育の現場に求められる専門的知識と指導力、幅広い教養を身につけ社会に貢献できる人材に

競技力向上に関するコーチングやトレーニングについて学び、各種スポーツ技術・戦術を正しく分析できる力を養うなど、専門的な知識と幅広い教養を身につけ、アスリートや指導者として活躍する、教育力とコーチング力を兼ね備えた、スポーツ教育の現場を通して社会に貢献できる人材を育成します。

学びの特徴

実践を通じて コーチの基礎知識を修得

専門とする種目の特性を理解し、優れたパフォーマンスを発揮するための方法を検討。その中から問題点を見つけ、コーチとしての知識を深める。

体育関連施設で行う インターンシップ制度

中学校・高校の課外活動や民間・公共のスポーツ施設において、責任ある指導者のもとで実習を行う。授業や演習で得た知識を現場で実践する能力を身につける。

競技スポーツ、武道、ダンスなどの 指導方法を研究

さまざまな競技を実践してみることでその種目を理解し、どのような指導やトレーニングが効果的なのかについて研究を深めていく。

コースの特徴

実践に役立つ指導力を養成する

チームや個人を指導する際には指導の基本原則・原則を理解するとともに、理想を高く持つことが重要である。その上でチームや個人の能力と特徴を考慮した、より実践的な指導力を養成する。

選手との コミュニケーションの つくり方を身につける

コーチとして現場で指導する際は、選手の状態に応じたコミュニケーションが不可欠。どのような状況にも適応できる言語的、非言語的スキルを修得する。

人格の指導者として コーチの資質を高める

スポーツを通じて人格を育てる指導の重要性を理解する。スポーツの世界だけでなく、実社会でも道徳的でスポーツマンシップを持った人材であることを目指し、能力を高める。

自らの競技力向上を目指す ヒントを得る

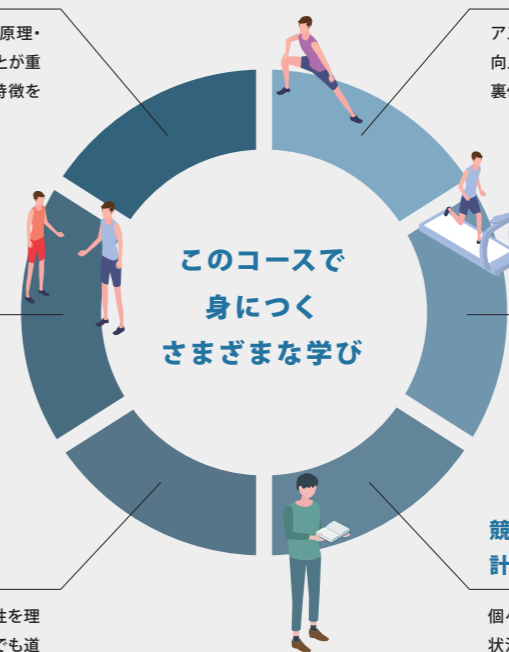
アスリートとして活躍が期待される学生が、競技力向上を目指すうえでヒントとなる、科学的データに裏付けされた知見を修得する。

技術的・戦術的スキルの 指導力を養成する

競技スポーツにおいて直接的に関係する技術指導や戦術指導の方法を理解し、実際の試合で最高のパフォーマンスを発揮させるための実践的指導方法とはどのようなものかを学ぶ。

競技力向上のためのトレーニング 計画の立て方を修得

個々の競技パフォーマンスを向上させるためには、状況把握とともに、しっかりとしたトレーニング計画の立案が必要。年齢・性別・経験年数・競技レベル・種目特性などを考慮した計画立案能力を向上させる。



PICK UP 授業

3年次 スポーツ科学とコーチング



科学的な知見がスポーツ指導にどのように役立てられるのか、実践的な立場から解説する。本講義を通して、選手に対し「命令」ではなく「説得」ができるような指導能力を身につけるきっかけをつかんでもらいます。

3年次 トレーニング計画



スポーツにおけるトレーニング計画の基本的な考え方を学び、種目特性の観点から計画立案に際し技術・体力のトレーニングの時間的配分について理解します。また、年間計画からトレーニングセッション(1回のトレーニング)の計画立案の実際について検討・学習します。

PICK UP ゼミ | 村上雷多ゼミ



武道(主に剣道)のコーチング、あるいは知識を養っていくことを目的としたゼミです。コーチングでは、実際に指導現場を体験しながら、コーチングスキルを身につけていきます。授業では、武道に関連する文献や資料あるいは論文等を中心に、様々な知識を学習していくとともに、現代武道の問題点や課題について考え、そのことについて全員で議論していき、今後の武道の展望について考えていきます。

体育科教育コース



実践・分析力、課題発見力を養い、
より良い体育を探求する教員をめざす。

体育・保健の授業づくりについて、実践したり分析したりすることを通して学び、
自ら課題を発見する力を養成し、より良い体育の在り方を常に探求し続ける教員を育成します。

学びの特徴

高度なスポーツ科学の
知識を修得して優れた教員に

体育大学ならではのスポーツに関する
高度な専門知識と指導法を身につける。
学校現場でスポーツの素晴らしさを
伝え、信頼される教員をめざす。

体育・保健の理論と模擬授業や
インターンシップなどの実践重視

体育・保健に関して科学的に裏付けさ
れた理論を学び、模擬授業や教育現場
でのインターンシップなど、十分な実践
を経験して知識を自分のものにする。

社会人として、教育者として
行動力ある教員をめざす

教育者としての十分な教養を持ち、自身が
率先して動くことができる行動力を養う。
学校現場で生徒から慕われる保健体育科
教員を養成する。

コースの特徴

体育授業で必須のダンスや
柔道・剣道の指導力を身につける

体育授業に必要なダンスや柔道、剣道。本コース
では男女ともにダンスは必修となり、女子も柔道
や剣道を履修する。保健体育科教員として幅広
い分野の指導力を身につけることができる。

体育・保健の授業をどう創るか、
どのような指導法が望ましい
のかを考える

「教わる立場」から「教える立場」への意
識の転換からスタート。そして「より良
い授業とは何か」を深く考える。具体的
な教材・教具を理解しながら、実践的
指導力を修得する。

保健体育科の教員になるために、
専門教養を身につける

教員採用試験や教育実習に向けて、保健体育教員
としての専門的な知識を中心に学びを深める。ま
た修得した知識を効果的に活用するための思考
力・判断力・表現力を養う。

教育現場で教員としての
適性を確認する

インターンシップでは直接学校現場に入り、教員の
業務を観察、補助する。それによって学校や生徒を
知ることができ、教職への意欲を喚起するととも
に、教員としての自己の適性を確認する。

実践的指導能力を身につける
ための課題を理解する

授業の単元計画や学習指導案の作成を通
して、球技・武道・器械運動・陸上競技に関
する特性について理解を深める。また模擬
授業と授業分析により実践的指導能力を
身につけるための課題を理解する。

「保健を教えること」も好きになる
アクティブ・ティーチャーになる

保健の教科書を手掛かりに、題材について徹底的に
教材研究をする。授業の善し悪しを決める教材研究
を極め、少人数形式の模擬授業を行い、参加者全員
で気づき、共有、修正を繰り返し、学びを深める。



PICK UP 授業

3年次 体育科教育学



「よい体育授業とはどのような授業か」を
キーワードに授業を展開します。「体育授業
の構造」や効果的な体育授業を実現するた
めの「教師行動」、「教材・教具づくり」を講義
に加え、ワークショップを通して学びを深め
ます。

3年次 授業研究ⅠB



保健の授業づくりでは、いかにすれば「楽しく
て、わかる授業」が創造できるのかを学習する
ほか、模擬授業では教具・資料等の作成、基礎
的な教授行為についても学習していく。これら
の学習を通じて、4年生で実施される教育実
習をより充実させるための準備をします。

PICK UP ゼミ | 小林博隆 ゼミ



「意味のあることを、熱意を持って、上手に教える」ことができる
保健体育教師をめざそう！
そのためには、よい体育授業とは？優れた保健体育教師とは？意味の
ある教材・教具とは？といった諸条件の理解と実践力の獲得が必要
不可欠です。ゼミ活動では、大学内での活動に留まらず、近隣の幼稚
園・小学校・中学校の教育現場に出向き、体育や保健の出前授業、運
動指導にも取り組みます。また、教育委員会と連携した教員研修や
研究授業の参観を通し、現職教員と関わる機会も多々あります。

スポーツ心理・カウンセリングコース



スポーツ心理学的アプローチを学び、 カウンセリングマインドを備えて社会に貢献できる人材に

競技力向上に役立つメンタルトレーニングなど、スポーツ心理学分野で求められる専門知識と、心と身体の両面からのアプローチを学び、カウンセリングマインドをもった指導者やリーダーなど、多様な社会に幅広く貢献できる人材を育成します。

学びの特徴

スポーツ心理学など 心理学の基本を学ぶ

スポーツ心理学・メンタルトレーニング・スポーツカウンセリングなど、対象者の状況にあわせて心理学的にどのようにアプローチするか、その基本を学ぶ。

さまざまなスポーツ現場で インターンシップ

さまざまな体育・スポーツ施設などに向き、実際に心理的サポートやカウンセリングを体験する。インターンシップを通して心理学がスポーツにどう関係するか体得できる。

心のケアや命の大切さを 体得できるプログラム

ダンスや運動を通じて心のケアを学ぶ。また、教育場に生かせるカウンセリングを体得する。自分の身体を使いながら、心と身体、教育について理解を深める。

コースの特徴

心理学的アプローチから 命の教育について考える

スポーツ指導における体罰・暴力の根絶をめざし、心理学的アプローチから命の教育について理解を深める。また体育やスポーツ参加者の身体の安全を守るため、救急救命の観点から学ぶ。

メンタルトレーニングを修得し、 指導や自身の競技に活かす

確かな研究成果に裏付けられた科学的根拠をもとにメンタルトレーニング技法を基礎から学ぶ。それを実践的に取り入れていく方法を考え、自身の競技力向上に活かせるようにする。

インターンシップを通じて、 幅広い現場経験を修得する

幼児から高齢者、スポーツ愛好家やプロスポーツチーム、障がい者スポーツ施設など、さまざまなスポーツ指導現場でインターンシップ実習を行い、スポーツ現場の実情を把握し、幅広い現場を経験する。

トップアスリートの心を分析し、 競技者へ心理的アプローチを図る

心理検査や行動分析、生理指標を測定する実験などを通じて、トップアスリートの心の特徴を科学的に分析する。競技者の心理面の強化に役立つ研究から、アスリートの心理について理解を深める。

生徒の人間性を育成できる 保健体育教員になる力を養成する

学校体育や部活動指導を通じて、生徒の豊かな人間性を育成できる指導力を身につける。将来、学校現場において、生徒の精神的成長を促せるカウンセリングマインドを持った保健体育教員を養成する。

スポーツ選手の心理的問題を理解し、 解決法を考える

スポーツ選手に対する数多くの心理サポートの実践事例を聴きながら、プレッシャーや人間関係などに悩むアスリートの心理的問題について理解を深め、検討する。



PICK UP 授業

3年次 認知・行動分析論



心理学は行動の科学ともいわれ、人の行動を観察・評価することでその理解を深めてきました。本講義では、多様なスポーツ現場に見られる人の認知・行動を分析するための研究法、データの測定および処理法、研究計画法について学習します。

3年次 スポーツ心理学実験実習



人の心理的側面を行動から観察する際には、それらを客観的に評価することが必要です。本実習ではスポーツ心理学の研究法を体験的に学習し、心理的側面の客観的指標について理解を深め、実践への応用についての考察を深めることを目的としています。

PICK UP ゼミ | 白井麻子ゼミ



ゼミでは、身体活動を通して感じる様々な心身の状況を察知し、運動パフォーマンスや身体表現について、自らの「なぜ」という疑問をゼミの仲間とともに解明する活動を行っています。例えば、「甘い物を食べるとやる気が出るのはなぜか」、「身体で表現できること」などについて、アクティブな活動や、実験を行います。4年次では、自らの研究テーマを見つけ、指導者、競技者の立場から科学的な視点で卒業研究を行います。

スポーツマネジメントコース



営業力・マーケティング力など専門知識を学び スポーツを含む多様なビジネスフィールドで活躍できる人材に

スポーツマネジメント分野で求められる専門知識とビジネススキル(営業力、企画力、マーケティング力、分析力、事業管理・運営力、予算計画・管理力、デジタル活用力)の学びを通して、スポーツを含む多様なビジネスフィールドで活躍できる人材を育成します。

学びの特徴

スポーツ環境に関わることをトータルに学ぶ

スポーツに関わるマーケティングやデータ収集、分析方法をはじめ、プログラム開発、施設・設備、人材、財務など、トータルな経営管理について理解を深める。

ゼミに分かれてより専門的な知識を修得

マーケティング、プロスポーツ、レクリエーション、アウトドア、スポーツ施策など、さまざまな切り口で、より専門的な知識を深める。

インターンシップや地域交流スポーツで現場体験

インターンシップなどで現場に出向き、スポーツに関わるさまざまな環境を体験。これらを通して知識を自分のものにし、実践力に磨きをかける。

コースの特徴

スポーツマネジメントの研究力を身につける

研究は学問と実践を発展へと導く「力」。スポーツ・レジャー・レクリエーションの実施者や観戦者、組織経営、スポーツ振興の効果などを研究し、未来のスポーツマネジメントを担う「力」にする。

スポーツマネジメント界の人脈を広げる

人脈は「力」である。卒業生のネットワークを活かし、特別講義やインターンシップを通してスポーツ・レジャー・レクリエーション界で活躍する人材と交流し、人脈を広げ「力」にする。

汎用性のあるマネジメントスキルを身につける

学内外のスポーツなどのイベント運営やゼミ活動、インターンシップを通して、スポーツマネジメントを実践する「力」を修得するとともに、スポーツ以外の分野においても適用できる汎用性のあるマネジメントスキルを身につける。

スポーツマネジメントの理論を学ぶ

スポーツ・レジャー・レクリエーション活動を通して人々の生活の質を向上へと導く学問であることを理解するとともに、スポーツ界におけるスポーツマネジメント学の意義を理解する。

スポーツ・レジャー・レクリエーションの意義を考える

スポーツ・レジャー・レクリエーションとは何か?人々がそれを実施する意味、また人々や社会にもたらす効果は何か、歴史的・社会的背景などを理解し、考える「力」を身につける。

スポーツ界の現状と課題を理解する

社会とスポーツ界の現状を分析して課題を客観的に理解する。組織運営や人材育成、資金管理、マーケティング、ブランディング、事業評価などを総合的に理解し、解決策を考える「力」を身につける。



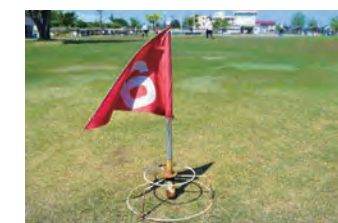
PICK UP 授業

3年次 スポーツビジネス論



スポーツビジネスを幅広いビジネスカテゴリーの一領域として捉え、他領域との比較及び応用の観点からスポーツビジネス市場やスポーツ消費者のメカニズムについて学びます。人々のスポーツ消費(モノ財・サービス財)を促進させるためにどのような戦略立案が必要であるかを、スポーツビジネスにおける理論や応用可能な他領域の基礎理論から検討するなど、スポーツビジネスの実践に関する応用力を身につけていきます。

3年次 スポーツ地域創生論



スポーツがもたらす効果は、健康の維持・増進や仲間作りなどにとどまらず、近年では地域の活性化や街づくり効果などと拡大しています。スポーツ地域創生論では、人々の日常的なスポーツ活動や、スポーツイベント、スポーツツーリストの誘致がどのように街づくりにつながるのかについて学びます。また、スポーツに親しめる街づくりとして公園整備やスタジアム・アリーナのあり方などについても考えます。

PICK UP ゼミ | 徳山友 ゼミ



ゼミでは多数のケーススタディーに取り組みます。例えば、スポーツプロダクト(スポーツ用品など)の「適切な価格設定戦略」「販売プロモーション戦略」や、スポーツサービス(スポーツイベント・観戦スポーツなど)の「集客戦略」「SNS戦略」「年次決算報告書の分析」などがあります。あらゆるケースについて学生が主体となりアクティブラーニング形式で学んでいき、必要な情報収集の在り方、情報のまとめ方、プレゼンテーション能力などの応用力を身に付けていきます。

専門分野はスポーツマーケティング・スポーツ消費者行動。担当科目はスポーツビジネス論。

アスレティックトレーニングコース



競技者のコンディショニング、スポーツ傷害予防の理論、実践力を備え幅広く活躍できる人材に

スポーツ医・科学に基づいたトレーニングやコンディショニング、スポーツ傷害の予防法などの学びを通して理論と実践力を兼ね備え、幅広い分野で活躍できる人材を育成します。

学びの特徴

競技力向上や健康づくりに必要なトレーニングの知識を修得する

スポーツパフォーマンスを向上させるための科学的知見に基づいたトレーニングの知識を学び、実践することで修得する。また、健康づくりのための運動処方などの理論を学ぶ。

スポーツ現場の安全管理や競技復帰までのリコンディショニングについて学ぶ

スポーツ現場の安全安心な環境づくりについて学ぶ。また、スポーツ傷害が起きた際の救急対応や競技復帰のためのトレーニング(リコンディショニング)の方法を修得する。

スポーツ傷害予防のための実践的技術と応用力を身につける

実習ではテーピング法、ラボテストなどを行い、より実践的な技術を修得する。現場において、実践・応用力が発揮できることを重視する。

コースの特徴

パフォーマンス向上のためのスポーツ科学について学ぶ

スポーツ・身体運動の仕組みやその可能性について学び、パフォーマンス向上に必要なスポーツ科学の知識を修得する。

スポーツ選手のコンディショニングについて学ぶ

疲労を軽減するためのストレッチング、マッサージ、アイシングなどのコンディショニングについて、スポーツ現場で経験を重ねたアスレティックトレーナー有資格教員から実践的技術を学ぶ。

スポーツにおける測定・評価について学ぶ

トレーニングやリコンディショニングを処方する際に基本となる測定・評価に必要な知識を学び、測定機器の操作方法を修得する。

スポーツ現場での救急対応について学ぶ

教育現場やスポーツ現場で外傷・障害が発生した際に必要となる緊急対応計画の立案方法について学び、固定法や担架による搬送法などの救急処置法を修得する。

スポーツ外傷・障害の予防について学ぶ

スポーツ現場で発生する外傷・障害を予防するために、それらの発生因子を抽出するためのメディカルチェックやフィジカルチェックの知識とスキルを修得し、リスク管理の方法について学ぶ。

競技力向上のためのトレーニングについて学ぶ

競技特性を理解した上で、その競技のパフォーマンス向上に必要な筋力、筋パワー、全身持久力を向上させるためのトレーニング理論を学ぶ。



PICK UP 授業

3年次 スポーツ救急法実習



スポーツ現場における怪我を想定し、スポーツ指導者が実施すべき救急対応について学習します。円滑に救急対応を実施するための緊急時対応計画の作成や搬送法、テーピング、バンテージ固定など、選手を安全に医療機関に引き継ぐ方法を実習形式で学びます。

3年次 スポーツコンディショニング実習



本番で最高のパフォーマンスが行えるように、コンディショニングを実践する選択肢を学生自身が広げることができることを目的として授業を進めます。実習においては、主にスポーツコンディショニングに役に立つと考えられる機能的なエクササイズやウォームアップ、そして、普段の練習や生活において行うことのできるコンディショニングの実践を紹介します。

PICK UP ゼミ | 崎濱星耶ゼミ



崎濱ゼミでは「アスレティックトレーニング学」について学びます。学問としては比較的新しいものになりますが、スポーツをする人のパフォーマンス向上やスポーツ現場の安全について検証・実践することを主として取り組んでいます。具体的にはパフォーマンスに関連する能力(筋力など)の測定や、労作性熱射病、頭頸部外傷の疑われる事案が発生した際の対応について演習を反復し、スポーツにおけるさまざまな条件や状況に対応できる実践力を養っています。

健康科学コース



※高齢の方の安全に配慮し、マスクを着用しています。

健康管理の知識や人体の機能を学び 医療・福祉など幅広い分野で健康づくりのリーダーに

疾病予防や健康増進のためのスポーツ・運動の効用を科学的に解明するために、健康管理の知識や運動のしくみ、人体の構造と機能の学びを通して、社会に貢献できる人材を育成します。

学びの特徴

身体運動と人体の関係についての知識を修得

人体の構造や機能を学び、身体運動が人体におよぼす作用などを学習する。健康のために何が必要か、運動の役割について理解を深める。

疾病予防に有効な運動処方などを学ぶ

運動が人体にどのように影響するのかを学び、さまざまな疫病予防に対して有効な運動は何なのかを理解する。また効果的な運動プログラムの作成も行う。

インターンシップでより実践力を高める

講義などで知識を修得し、医療・福祉施設やスポーツ関連施設などでインターンシップを行い、社会人としての素養を身につける。

コースの特徴

地域住民とのスポーツプログラムを通して実践的教育をはかる

地域住民の健康増進プログラムの展開に必要な「健康運動実技」を学び、地域住民の健康づくりや体力測定を通して実践力を養う。学生全員が主体的に実習に参加する。

地域高齢社会に対応する力を極め社会に貢献できる人材を育てる

高齢者や地域住民一人ひとりが自立した生活を送れるように、運動を通して支援する力を身につけ、健康な社会の実現に向けて貢献する。住民の健康と自らの実践力を向上させる。

自分自身や家族の健康管理できる力を身につける

自分の身体づくりや運動、食事、栄養、休息などを修得した知識を照らし合わせながら、どのように管理していくか考える。学んだ知識を自身の健康管理に生かすことで、理解を深める。

運動と身体の関係の基礎となる人体の構造を理解する

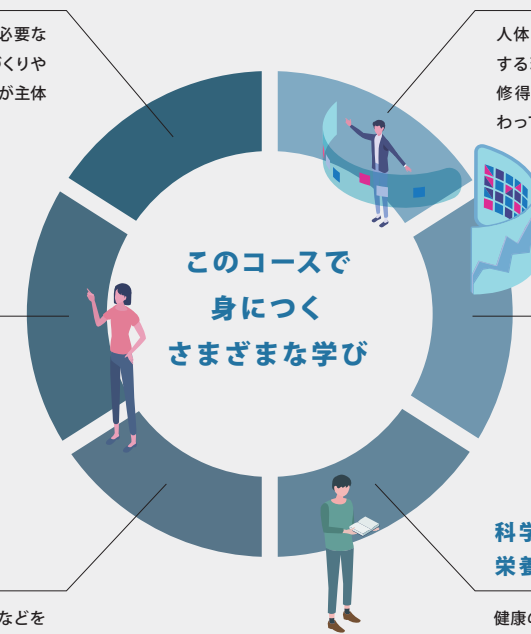
人体の形態と徹底的に向き合い、人体構造に関する理解を深める。人体の構造や機能について修得し、スポーツ・運動がどのように健康に関わってくるかを学ぶ。

運動が身体機能を高める効果としくみを理解する

トレーニングをすると、なぜ筋肉がつくのか。身体運動が人体の筋力・神経・呼吸・循環に対して及ぼす効果と、そのしくみについて理解を深める。

科学的根拠にもとづいた栄養学を理解する

健康のためには栄養は大切な要素。栄養学の基礎を科学的な根拠にもとづいて学ぶ。健康維持やアスリートの身体づくり、パフォーマンス向上に有効な食事を考える。



PICK UP 授業

3年次 健康と運動の生理学



スポーツ生理学はスポーツや運動によって身体にどのような変化が生じるのか、その現象としくみを学ぶ学問です。生活習慣病などの疾病予防と健康・体力増進としての、運動の効果とそのしくみに関する基礎と応用を中心に学習します。

2年次 3年次 健康スポーツ実技A・B



健康づくりおよび介護予防を中心としたプログラムを学習。積極的な健康づくりを目的とした運動を、安全かつ効果的に実践指導する能力(プログラム作成・指導)を身に付けます。授業の一部として、体力若返り講座に参加して「健康づくりのエキスパート」を目指しています。

PICK UP ゼミ | 三島隆章 ゼミ



本研究演習は、運動生理学(筋生理学)や発育発達学について学び、実践することができる能力を養うことを目的として行っています。学外での活動も積極的に行っており、夏と冬の年2回、ゼミ合宿を行っています。ゼミ合宿では自分自身のゼミ論文の発表をするだけでなく、他のゼミ生、さらには他大学の院生や学生の研究発表を聞くことで、研究に対する造詣を深めています。また、ゼミ生同士や他大学の学生との親睦も深めています。

カリキュラム

●…必修科目 □…選択必修科目 ○…選択科目 ※科目名、カリキュラムは2024年度スポーツ科学部のもので、変更される場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養科目	教養科目 ■日本語技法 ■情報処理実習I □統計 □統計基礎 ●日本語技法基礎 ●日本語技法応用 ●情報処理実習II ●総合英語A ●総合英語B ■実践英語 一般教育科目 □文学 □宗教学 □倫理学 □文化論 □哲学 □歴史学 □社会学 □経済学 □法学 □政治学 □日本国憲法 □数学 □生物学 □心理学 □物理学 □化学 初年次科目 ■スポーツ科学総論	●応用英語 ●英会話I ●英会話II ●海外語学研修 ●ドイツ語 ●中国語		
専門基礎科目	講義 ■スポーツ生理学(運動生理学を含む) ■体育原論 ■スポーツ経営学 ■スポーツ栄養学 ■機能解剖学 ■救急処置I ■体カトレーニング論 ■スポーツ測定評価 実験・実習 ■陸上競技IA ■陸上競技IB ■器械運動IA ■器械運動IB ■水泳IA ■水泳IB ■レクリエーションI ■体カトレーニング実習	■運動学(運動方法学を含む) ■スポーツ社会学 ■スポーツ心理学 ■スポーツ史 ■バイオメカニクス ■スポーツ医学 ■発育発達と老化 ■バスケットボールI ■サッカーI ■バレーボールI ■テニスI □ダンスIA □柔道IA □剣道IA □ダンスIB □柔道IB □剣道IB		
キャリア形成科目	講義 ■キャリアデザインI	■キャリアデザインI	●キャリアデザインII	
発展科目 スポーツ教育コース	講義 ■スポーツ教育概論 ■スポーツ教育学 実験・実習 ■スポーツ教育演習I ■スポーツ教育演習II 演習 ■スポーツ教育演習III ■スポーツ教育演習IV(卒業研究を含む)	■スポーツ教育概論 ■スポーツ教育学	□武道論 □舞踏論 □エリートアスリート概論 □スポーツ技術・戦術論 □コーチング論 □コーチングの心理学 □動作分析法 □スポーツ科学とコーチング □競技スポーツ論 □トレーニング計画 □スポーツ文化論 □スポーツと学校教育 □アスリート実習 □コーチング実習 ■ハンドボールI □ラグビー(男子のみ) □ソフトボール(女子のみ) □レクリエーションII □体育実技指導法(器械運動) □体育実技指導法(陸上競技) □体育実技指導法(水泳) □体育実技指導法(柔道) □体育実技指導法(剣道) □体育実技指導法(ダンス) □体育実技指導法(ゴール型バスケットボール) □体育実技指導法(ゴール型サッカー) □体育実技指導法(ゴール型ハンドボール) □体育実技指導法(ネット型バレーボール) □体育実技指導法(ネット型テニス) ■スポーツ教育演習I ■スポーツ教育演習II	□器械運動II □陸上競技II □水泳II □柔道II □剣道II □ダンスII □バスケットボールII □サッカーII □ラグビーII □ハンドボールII □バレーボールII □テニスII ■スポーツ教育演習III ■スポーツ教育演習IV(卒業研究を含む)
発展科目 体育科教育コース	講義 ■体育科教育概論 ■スポーツ教育学 実験・実習 ■体育科教育演習I ■体育科教育演習II 演習 ■体育科教育演習III ■体育科教育演習IV(卒業研究を含む)	■体育科教育概論 ■スポーツ教育学	■体育科教育学 ■授業研究IA(体育) ■授業研究IIA(体育) ■授業研究IB(保健) ■授業研究IIB(保健) ■教育カウンセリングII ■インターンシップB(体育科教育) ■体育科教育演習I ■体育科教育演習II	■体育科教育演習III ■体育科教育演習IV(卒業研究を含む)
発展科目 スポーツ心理・ カウンセリングコース	講義 ■スポーツ心理・カウンセリング概論 ■スポーツメンタルトレーニング指導論 実験・実習 ■スポーツ心理・カウンセリング実習I ■スポーツ心理・カウンセリング実習II 演習 ■スポーツ心理・カウンセリング演習I ■スポーツ心理・カウンセリング演習II	■スポーツ心理・カウンセリング概論 ■スポーツメンタルトレーニング指導論	■認知・行動分析論 ■運動学習論 ■コミュニティダンス ■コーチングの心理学 ■教育カウンセリングII ■スポーツ心理学実験実習 ■スポーツ心理・カウンセリング実習 □インターンシップA(スポーツ心理・カウンセリング) □ゴルフ実習 ■スポーツ心理・カウンセリング演習I ■スポーツ心理・カウンセリング演習II	■スポーツ心理・カウンセリング演習III ■スポーツ心理・カウンセリング演習IV(卒業研究を含む)
発展科目 スポーツ マネジメントコース	講義 ■スポーツマネジメント概論 ■スポーツマネジメントトピック 実験・実習 ■スポーツマネジメント実習I ■スポーツマネジメント実習II 演習 ■スポーツマネジメント演習III ■スポーツマネジメント演習IV(卒業研究を含む)	■スポーツマネジメント概論 ■スポーツマネジメントトピック	■スポーツマーケティング ■スポーツ地域創生論 ■スポーツプログラムマネジメント ■スポーツビジネス論 ■マーケティング/リサーチ法 □インターンシップB(スポーツマネジメント) □スポーツマネジメント海外研修 ■スポーツマネジメント演習I ■スポーツマネジメント演習II	□スポーツツーリズム論 □アウトドアスポーツ論 ■スポーツマネジメント演習III ■スポーツマネジメント演習IV(卒業研究を含む)
発展科目 アスレティック トレーニングコース	講義 ■アスレティックトレーニング概論 ■ストレングス&コンディショニング理論 実験・実習 ■アスレティックトレーニング実習I ■アスレティックトレーニング実習II 演習 ■アスレティックトレーニング演習III ■アスレティックトレーニング演習IV(卒業研究を含む)	■アスレティックトレーニング概論 ■ストレングス&コンディショニング理論	■スポーツ外傷・障害の予防と安全管理 ■臨床スポーツ医学(整形外科) ■実践トレーニング科学理論 ■コーチングの心理学 ■体力科学実験実習 ■スポーツ救急実習 □スポーツ外傷・障害予防実習 □トレーニング実技 □スポーツコンディショニング実習 □リコンディショニング実習 □スポーツ実践実習 ■アスレティックトレーニング演習I ■アスレティックトレーニング演習II	■アスレティックトレーニング演習III ■アスレティックトレーニング演習IV(卒業研究を含む)
発展科目 健康科学コース	講義 ■健康科学概論 実験・実習 ■健康スポーツ実技B 演習 ■健康科学演習III ■健康科学演習IV(卒業研究を含む)	■健康科学概論 ■健康スポーツ実技B	■臨床スポーツ医学(内科) ■臨床スポーツ医学(整形外科) ■健康指導管理論 ■栄養管理 ■健康と運動の生理学 ■健康スポーツ実技A □インターンシップA(健康科学) □健康増進実習 □インターンシップB(健康科学) ■健康運動実践演習 ■健康科学演習I ■健康科学演習II	■健康科学演習III ■健康科学演習IV(卒業研究を含む)
副専攻科目	講義 ●体育科教育概論 ●スポーツ教育学 ●スポーツメンタルトレーニング指導論	●体育科教育概論 ●スポーツ教育学 ●スポーツメンタルトレーニング指導論	●武道論 ●舞踏論 ●エリートアスリート概論 ●スポーツ技術・戦術論 ●コーチング論 ●スポーツ科学とコーチング ●競技スポーツ論 ●トレーニング計画 ●スポーツ文化論 ●体育科教育学 ●運動学習論 ●コーチングの心理学 ●スポーツマーケティング ●スポーツ地域創生論 ●スポーツビジネス論 ●ストレングス&コンディショニング理論 ●実践トレーニング科学理論 ●スポーツ外傷・障害の予防と安全管理 ●健康指導管理論 ●栄養管理 ●健康と運動の生理学	
関連科目	講義 ●運動部指導実践論 ●コーチング法 ●教師論 実験・実習 ●スノースポーツ実習	●デジタルスポーツ論 ●障害者スポーツ概論 ●スポーツと人類学 ●スポーツカウンセリング ●ジャーナル・レクリエーション概論 ●体表解剖学 ●国際スポーツ論 ●保健体育科教育法A ●保健体育科教育法B ●アドベンチャーキャンプ実習 ●マリンスポーツキャンプ実習	●野外教育論 ●衛生学(公衆衛生学を含む) ●スポーツ事故法論 ●学校保健(小児保健・精神保健・学校安全を含む) ●教育史 ●スポーツジャーナリズム論 ●健康スポーツ心理学 ●身体表現とコミュニケーション ●保健体育科特講 ●臨床スポーツ医学(内科) ●レクリエーション指導法I ●保健体育科学習指導論 ●スポーツ演習 ●手話実習I ●手話実習II ●初級ピアノ実習A ●初級ピアノ実習B ●トレーナー実習 ●体つくり運動 ●武道の形 ●なぎなたA ●なぎなたB ●リズムダンス ●エアロビクスダンス ●ハンドボール ●ラグビー ●卓球 ●ソフトテニス ●バドミントン ●ソフトボール ●野球 ●ゴルフ ●障害者スポーツ ●レジスタンストレーニング ●実践英語実技 ●レクリエーションII	●人権教育 ●レクリエーション指導法II
教職に関する 専門科目	講義 ●教育原理 ●教育心理学 実験・実習 ●教育実習I ●教育実践演習(中・高)	●教育原理 ●教育心理学 ●特別支援教育概論 ●教育課程編成論 ●道德教育の理論と実践	●生徒・進路指導論 ●教育行政 ●特別活動および総合的な学習の時間の指導法 ●教育方法論(情報通信技術の活用を含む) ●教育カウンセリングI ●体育実技指導法(器械運動) ●体育実技指導法(陸上競技) ●体育実技指導法(水泳) ●体育実技指導法(柔道) ●体育実技指導法(剣道) ●体育実技指導法(ダンス) ●体育実技指導法(ゴール型/スケートボール) ●体育実技指導法(ゴール型サッカー) ●体育実技指導法(ゴール型ハンドボール) ●体育実技指導法(ネット型/バレーボール) ●体育実技指導法(ネット型テニス)	●教育実習事前事後指導
資格関連科目	講義 ■アスレティックトレーナー論 実験・実習 ●労働衛生 ●救急処置II 演習 ●特別演習(テニス) ●特別演習(水泳)	●スポーツ外傷・障害評価法 ●アスレティックトレーニング実習A	●介護技術講義 ●障がい者スポーツ指導法 ●労働概論 ●労働法規 ●運動プログラム作成法 ●リコンディショニング理論 ●アスレティックトレーニング実習B ●アスレティックトレーニング実習C ●アスレティックトレーニング演習 ●リコンディショニング実習 ●特別演習(サッカー)	●労働衛生 ●救急処置II ●特別演習(テニス) ●特別演習(水泳)
自由科目	演習 ●スポーツ科学特別演習I ●スポーツ科学特別演習II	●スポーツ科学特別演習III		

教員一覧

【教授】	【准教授】	【講師】	【助教】
足立哲司 トレーニング科学 池島明子 レクリエーション 健康づくり 介護予防 石川昌紀 身体運動中の神経筋機能メカニクス 伊原久美子 レクリエーション 野外教育 ウエイン・ジュリアン 日本学 岡村浩嗣 スポーツ栄養学 壁谷一広 英語教授法 高等教育における学習支援 川島康弘 体カトレーニング コーチング(競泳) 神崎浩 武道教育学 運動学 楠本繁生 体育科教育学(ハンドボール)	有吉晃平 コンディショニング スポーツ外傷・障害 アスレティックトレーニング バドミントン 尾関一将 コーチング(競泳) スポーツバイオメカニクス 貴嶋孝太 スポーツバイオメカニクス コーチング 熊崎敏真 肉眼解剖学 運動器系の解剖学 スポーツ医学 小菅萌 スポーツ心理学 スポーツにおけるリーダーシップ コーチング 小林博隆 体育科教育学 白田秀和 柔道 コーチング学 生田芳和 舞踊学 身体表現学 徳山友 スポーツビジネス スポーツマーケティング 友金明香 健康づくり 体力学 中井俊行 コーチング ラグビーのコーチング法	中村健 哲学 比嘉靖 スポーツコーチング ゲーム分析 吉川望 日本近現代文学 吉沢一也 西洋古代哲学史 【講師】 石居宜子 コーチング サッカー選手の競技力向上に関する研究 坂田実加 数学(整数論) 崎濱星耶 アスレティックトレーニング学 下川真良 コーチング(ハンドボール) 滝沢洋平 体育科教育学 田中良 学校保健学 発育発達学	田原宏晃 体育・スポーツ系 実技:体操競技(専門種目) 徳田真彦 野外教育 レクリエーション 長江晃生 ゲーム分析 コーチング 松尾元太 サッカー 村上なおみ 体育科教育学 コーチング学 村上雷多 武道論 剣道 森田玲子 舞台芸術(舞踊創作) 舞踊学 身体表現 【助教】 岡村修平 テニス コーチング学 体力科学 中西啄真 陸上競技 スポーツバイオメカニクス

2023年4月1日現在

教育学部

小学校教育コース **P37**

保健体育教育コース **P39**

幼児教育コース **P41**

特別支援教育コース **P43**
(上記3コースに加えて履修可能)

教育学部は、これまで多くの保健体育教員を輩出してきた大阪体育大学の中に、複数種の教員免許状の取得をめざしたカリキュラムを準備して平成27年度に開設しました。小学校教育コースと保健体育教育コースの2コースでスタートしましたが、たゆまぬ改革を進め、令和3年度から特別支援教育コースも新設。両コースのいずれかを選択したうえで選べるようになりました。令和5年度には幼児教育コースを設置し、教育学部で幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得が可能になりました。

公立学校の教員採用試験では目覚ましい実績を残し、令和4年度の合格者は初めて50人を突破(51人)、令和5年度はさらに8人増やし、2年連続過去最多となる59人が合格しています。

教育学科

子どもと共に“うごける”先生をめざす

本学はこれまで、多くの優秀な保健体育教員を輩出してきました。培ってきた体育の専門分野を活かし、子どもと一緒に学び、動ける教員、体育学の素養を備えた教員を養成します。

小学校教育コースでは、子どもと一緒に学び動けることができ、子どもの健やかな成長に貢献できる教員をめざします。保健体育教育コースでは、体育と保健に関する専門的知識と技能を備え、生徒一人ひとりの課題解決に向き合う教員を育成します。2023年4月から新設された幼児教育コースでは、多様な子どもの特性に応じて健康な心と体を育む人材を養成します。さらに、3コースに加えて特別支援教育コースの選択が可能で、特別支援教育について学び、児童・生徒一人ひとりに向き合える教員を育成します。

社会科概論

1本の苗

▼教育学科の特色

1 | 最大3つの教員免許を取得できる

取得できる免許・資格は小学校、中学・高校(保健体育)、幼稚園、特別支援学校の各一種免許状、保育士資格と幅広く、いずれのコースでも最大3つの免許を取得できます。

2 | 学校インターンシップで実践的な学びを深める

教育実習だけでなく、2年次から学校現場へ出向き、学びます。大学の授業での学びと教育現場での体験で、理論と実践の融合をはかります。

3 | 特別支援教育について学び教育の幅が広がる

3コースに加えて特別支援教育コースを選択することができ、障がいのある子どもへの理解や指導力を身につけ、一人ひとりに向き合える教員を育てます。

4 | 体育に強い先生を育てます

質の高い指導法や模擬授業、指導案の作成などを通じて、幼稚園から小学校、中学・高校、特別支援まで、体育の指導でリーダーシップを発揮できる教員を育てます。

5 | 将来を見すえたゼミ選び

幼稚園・保育士から小学校、中学・高校、特別支援まで、自分が取得を目指す教員免許や資格に応じたゼミを選ぶことができます。ゼミでの学びが将来、教壇に立った自分の成長に直結します。

6 | 教員採用試験に強い

元校長など教員採用試験に詳しい教員が、少人数クラスで初年次から徹底サポートします。学部独自の手厚い面接、小論文、実技試験対策、過去問対策等で、高い教員採用試験合格者を誇ります。

取得可能な資格 ■ … 所定単位修得で取得できるもの

■ 小学校教諭一種免許状

全コースで取得可能。

■ 中学校教諭一種免許状(保健体育)

全コースで取得可能。

■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

全コースで取得可能。

■ 特別支援学校教諭一種免許状

[知的障がい者の教育に関する領域・肢体不自由者の教育に関する領域・病弱者(身体虚弱者を含む)の教育に関する領域]

幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)のいずれかの取得要件を満たしたうえで、さらに必要単位を修得すれば取得可能。

■ 幼稚園教諭一種免許状

全コースで取得可能。

■ 保育士資格 【国家資格】※(定員50名)

定員を超過した場合は幼児教育コース選択者を優先し、さらに超過した場合はGPAの順位により選定

■ レクリエーション・インストラクター 【公財】日本レクリエーション協会認定資格

■ スポーツ・レクリエーション指導者 【公財】日本レクリエーション協会認定資格

■ 初級・中級バラスポーツ指導員 【公財】日本バラスポーツ協会公認

いずれも、障がい者のスポーツ振興と競技力向上にあたる指導者のための資格。中級資格取得は10日以上、80時間以上の活動実績が必要。

めざせる将来像

【学校・教育分野】 ● 小学校教員 ● 中学校教員(保健体育科) ● 高等学校教員(保健体育科) ● 幼稚園教諭

● 特別支援学校教員 ● 保育士

【生涯スポーツ分野】 ● 幼児体育施設 ● フィットネスクラブ ● スポーツ財団法人

【公務員分野】 ● 行政職 ● 警察官 ● 消防官

【一般企業分野】 ● 営業・販売部門 ● 商品企画開発部門 ● 宣伝・広報部門 ● 一般事務部門

【研究者分野】 ● 大学教員

小学校教育コース



**実践的な指導力を身につけ
子どもの健やかな成長に貢献できる教員をめざす。**

小学校教員としての専門性を身につけ、健やかな子どもを育てる力を養います。
子ども一人ひとりに対して適切な心配りができる教員をめざします。

学びの特徴

小学校全教科の基礎理論と指導法を学ぶ

小学校教員として全教科の基礎的理論や実践的指導能力を身につける。児童に信頼される高い指導力と豊かな人間性を養成する。

運動・スポーツの楽しさを伝え、児童の発育に貢献できる教員へ

体育、スポーツ、身体に関する専門知識を有し、児童の体力低下の課題を解決して、学校行事や生徒指導にも積極的に取り組める活動力にあふれた小学校教員をめざす。

特別支援教育の専門知識を身につける

特別支援教育を通して、障がいのある子どもへの理解や対応を身につける。特別な支援が必要な児童を深く理解し、通常学級においても適切に指導できる力を修得する。

コースの特徴

特別支援教育を理解している教員の養成

さまざまな障がいのある児童について理解し、通常の学級でも学ぶ教育が実践できる知識・技能を身につける。障がいの有無に関わらず、すべての児童のニーズに応じた指導ができる教員を養成する。

保健体育教育に精通した小学校教員を養成する

体育に関する専門知識を持ち、子どもの体力向上、体力格差の解消に向けた指導ができる力を養う。小中高にわたって系統性を持った体育指導カリキュラムを作成・指導できる実践力を身につける。

体育・スポーツの楽しさを伝え、健康な生活を指導できる力を修得

学校体育だけでなく、さまざまな教育活動の中で身体を動かす楽しさを知り、運動習慣を身につけさせる教育について学ぶ。児童の基礎的運動能力を高めるため、体育の楽しさを伝えられる力を修得する。

全ての子供たちの可能性を引き出す教員を養成する

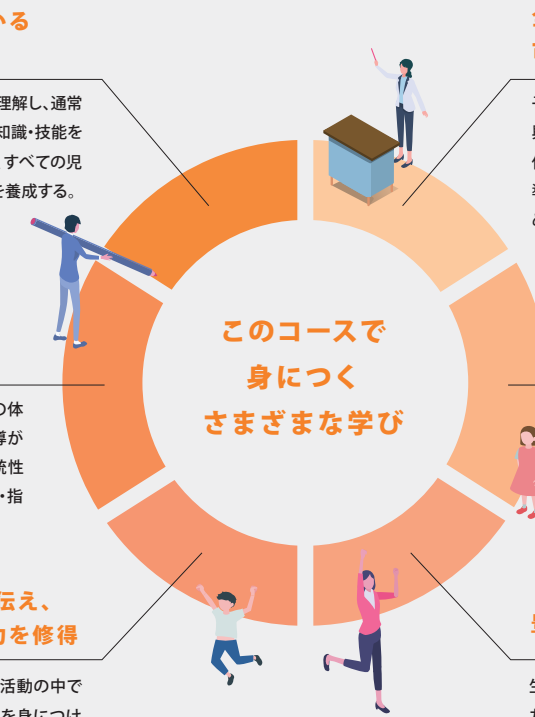
子供の成長やつまずきの理解に努め、一人一人の興味・関心・意欲を高めきめ細かく指導・支援し、子供たちの知・徳・体を一体的に育むことのできる指導力を身につける。子供たちの生きる力を培うため、自ら学び続ける教員を育成する。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を指導できる教員を育成する

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、子供たちが学びあい他者と協働した探究的な学習を展開するため、各教科における専門的な知識や指導方法を身につけ、実践的指導力を習得する。

豊かな人間性と人権意識を養う

生徒指導や学級経営について理解を深め、子供たちの思いを共感し、一人一人に応じた指導ができるよう、豊かな人間性を養う。また、人権意識を持ち、社会性と高いコミュニケーション能力をあわせもった教員を養成する。



PICK UP 授業

2年次 理科概論



小学校理科での指導内容について学習します。実務経験を生かして本内容に関する児童の理解の仕方について実態で紹介し、授業者が携わってきた単元構想研究の知見を活かした助言を行います。

4年次 ICT活用教材研究



GIGAスクールで始まった1人1台の端末を使った新しいICT活用の教育に対応し、4年次にはこれまでの学習を活かし、より良い授業づくりができるようICT活用の理論を学び、1人1台のタブレットを使った実践的な授業づくりに取り組みます。

PICK UP ゼミ | 栗田昇平ゼミ



本ゼミでは、良い体育授業の探究をテーマに様々な視点から研究しています。これには例えば、体育に関わった教材や授業方法論の研究の他に、体育授業の得意な教師キャリアや教員養成に関する研究、子どもの体力の実態調査等が含まれます。ゼミ活動としては、体育授業者としての計画立案能力や授業実践能力の発達をねらい、体育教材研究や模擬授業実践等、理論と実践を架橋を企図した活動を行っています。

保健体育教育コース



保健体育の専門知識と優れた指導力で生徒一人ひとりの課題解決に向きあう。

体育のそれぞれの運動についての確かな指導ができるのはもちろんのこと、運動が苦手な子どももスポーツを楽しめるようアプローチできる教員をめざします。

学びの特徴

保健体育の高い専門性を身につける

体育大学としての強みを活かし、保健体育とともに、さまざまなスポーツや身体に関する専門知識を学ぶ。生徒に信頼される高い指導力と豊かな人間性を養成する。

アダプテッド・スポーツを理解する

障がいのある人や幼児から高齢者、体力の低い人も参加できる「アダプテッド・スポーツ」を理解し、実践的アプローチの方法も身につける。

特別支援教育の専門知識を身につける

特別支援教育を通して、障がいのある生徒への理解や対応を身につける。特別な支援が必要な生徒を深く理解し、通常学級においても適切に対応できる力を修得する。

コースの特徴

特別支援教育を理解している教員の養成

さまざまな障がいのある生徒について理解し、通常の学級でも学ぶ教育ができる知識・技能を身につける。障がいの有無に関わらず、すべての生徒のニーズに応じた指導ができる教員を養成する。

「生きる力」を育成する教員を養成する

生徒に対し、教科に関する専門的な知識の他に、心・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成できる指導力を身につける。自らの指導力を高め、学び続ける意欲ある教員を養成する。

体育と保健の高い専門知識を有した教員を養成

体育大学として、保健体育に関する専門知識や技術が高度であることはもちろんのこと、アダプテッド・スポーツの高度な知見と実践的アプローチを修得し、推進していける能力を養う。

確かな学力を身につけ生徒の能力を引き出せる教員へ

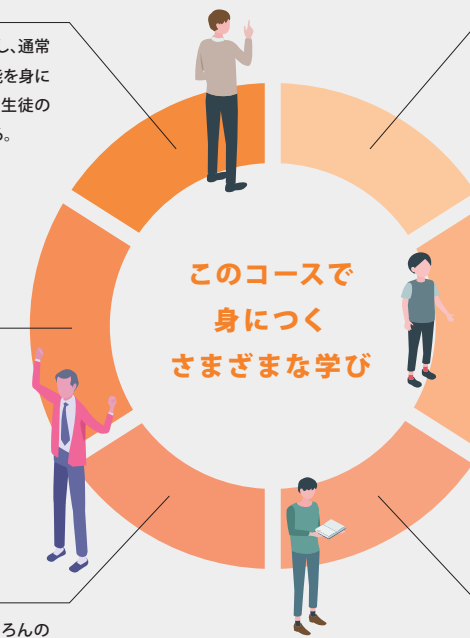
保健体育の教科指導における知識・技術を身につけ、学習活動や課題探求型の学習、新たな学びを展開できる実践的指導力を修得する。生徒指導、学級経営などについても理解を深める。

幅広い体育種目に精通した体育教員を養成する

自ら行ってきた競技の専門性の高さはもちろんのこと、学校教育において求められる体育種目全般について、知識と技術を高め、それらの指導が的確に行える教員を養成する。

豊かな人間性と人権意識を養う

生徒の思いを理解・共感し、適切に指導できるよう、豊かな人間性を養う。また、人権意識を持ち、常識や教養などの社会性や高いコミュニケーション能力をあわせ持った教員を養成する。



PICK UP 授業

2年次 保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱ



中学・高等学校の保健科教育に関する基本事項や、保健授業づくりの理論について理解を深めるとともに、実践的な教科指導力を身につけます。特に、学習成果の見込めるよい体育授業の立案・設計に必要な教材解釈力を養います。

3年次 アダプテッド・スポーツ実習



アダプテッド・スポーツの実践に参加し、それぞれの現場での参加者のニーズやスポーツを実施するにあたっての配慮点などを体験的に学習します。また、これまでに学んだ知識を応用して指導する力を身につけます。

PICK UP ゼミ | 竹内亮ゼミ



体力測定や運動療法を実践的に学びながら研究を行う。ゼミでは、教育やスポーツに限らず、保健(地域および小児)、医療など幅広い視点で、「体を動かすこと(身体活動)」を科学的に探究する研究を行っています。幼児から高齢者、配慮が必要な方など、様々な対象者の身体活動について、学生は実験や調査研究などを通じて学んでいます。また、地域在住高齢者に対する運動指導の機会もあり、地域住民との交流にも力を入れております。

幼児教育コース



多様な子どもの特性に応じて 健康な心と体を育む人材を育てます

健康で元気な子どもを育み、遊びの中で体作りを担える幼稚園教諭や保育士などの人材を育てます。
運動が得意でない学生も、充実したカリキュラムで子どもへの運動の指導力を高めます。

学びの特徴

健全な発育発達を促すための 学習内容

子どもの生活リズムを基本として、遊びや体験を通じた活動を中心に健全な発育発達を促すための学習内容や指導法に関する基礎的理論と実践的指導能力を身に付ける。

運動・スポーツの楽しさを伝え、 子どもの運動機能や体力低下の 課題を解決できる学習

子どもに運動・スポーツの楽しさを体験させながら、子どもの運動機能や体力低下の課題を解決できる活動力あふれる指導能力を身に付ける。

特別支援教育を通じて、障がいのある 子どもへの理解や対応を身につける

特別な配慮が必要な子どもを深く理解し、特別支援教育を通じて、障がいのある子どもへの理解や対応を身につけるだけでなく、支援を必要とする子どもを含め、一人ひとりのニーズに応じた教育的支援を実践できる指導能力を身につける。

コースの特徴

乳幼児期の子どもの発育発達に 関する専門性を身につける

一人ひとりの幼児に応じた健全な発育発達を促すための体づくりや、生活面での自立と協調性を身につけるよう導く。人格教育に重きを置き、乳幼児から児童期・青年期にわたって発達段階を俯瞰しながら、特に乳幼児期の子どもの発育発達に関する高い専門性を持つ教員・保育者を養成する。

特別支援教育を理解している 保育者の養成

様々な特性のある子どもについて理解し、特別な支援や特性が必要な子どもたちと支え合い、協働する保育が実践できる、知識・技能を身につけるよう導く。障がいの有無に関わらず、多様な特性に応じた指導ができる保育者を養成する。

保健体育教育に精通した 保育者を養成する

運動・スポーツに関する専門的知識を持ち、子どもの運動機能や体力低下の課題を解決できる力を養うよう導く。子どもの段階に応じて系統性を持った運動カリキュラムを作成・指導できる実践力を持つ教員・保育者を養成する。

体育・運動遊びの楽しさを伝え、 健康な生活を指導できる保育者を 養成する

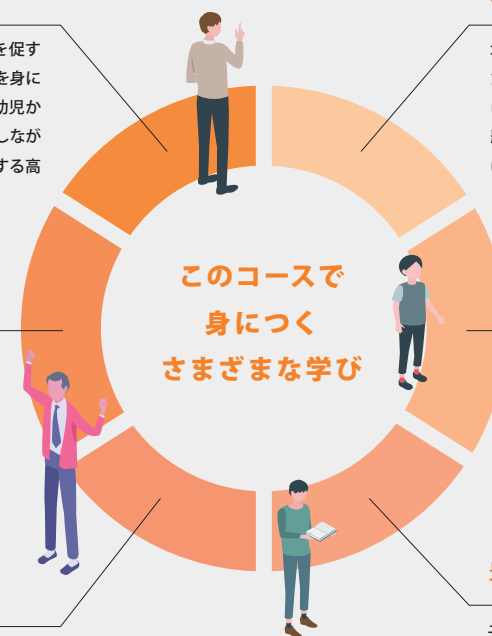
幼稚園・保育所だけでなく、様々な活動の中でからだを動かす楽しさを知り、生活習慣をつける教育について学ぶ。子どもの運動機能や体力低下の課題を解決できる活動力あふれる指導能力を身につけられるよう導く。

小学校生活につなげる 幼児教育の担い手の育成

様々な体験等を通して培われた「見方・考え方」は、小学校以降において、各教科等の「見方・考え方」の基礎になるとともに、これらを統合化することの基礎となるものである。そのために深い洞察力、多様化、複雑化する教育現場の課題に柔軟に対応できる保育者を養成する。

豊かな人間性と人権意識を養う

子どもの指導やクラス運営について理解を深め、子どもたちの思いを共感し、一人ひとりに応じた指導ができるよう、豊かな人間性を養う。また、人権意識を持ち、社会性と高いコミュニケーション能力を併せ持った保育者を養成する。



PICK UP 授業

3年次 ニュースポーツ



未知のスポーツに取り組むことで、頭と身体を同時に使って考えることを試み、また人数・天候・施設などの条件に応じて出来るだけ多くの種目を紹介します。楽しさと達成感を体験してもらおうと共に、仲間のために努力することで得られる喜びの体験を通して、生涯スポーツを楽しむ知識・技能・自信を身につけてもらうことを学習します。

2年次 健康領域指導法



乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育を想定した保育を構想する方法を身に付けます。領域「健康」の特性をもとに情報機器及び教材を活かし具体的な指導方法を学びます。また幼児の健康に留意することを理解するとともに、幼児自身が自らの健康に留意できるような援助者、指導者としての基礎的姿勢と技術を学習します。

特別支援教育コース※

※小学校教育、保健体育教育、幼児教育のいずれかのコースを履修したうえで選択可能



インクルーシブ教育の深い知識と実践力を備え
子どもと共感し、生きる力を育む教員をめざす。

共生社会の実現に向け、幼児期から高等学校段階まで、障がいをはじめさまざまな教育的ニーズのある子ども一人ひとりに応じた適切な教育を行う力を養います。

学びの特徴

特別支援教育の高い専門性を身につける

特別支援教育に関する幅広い知識・技能を修得し、子どもたちの良さや可能性を引き出す指導・支援を実践する教員を育てる。

障がいのある子どもたちの豊かなスポーツライフを実現する

障がいのある子どもたちの心身ともに健康で安全な生活と生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現をめざす教員を育てる。

多様な学びの場で活躍する教員を養成する

通常の学級、特別支援学級、特別支援学校等に在籍する障がいのある子どもたちに対して、心身の状態に即応したかかわりができる教員を育てる。

コースの特徴

さまざまな障がいに対応できる幅広い専門性

発達障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱等、障がい種ごとの教育論、指導法、心理・生理・病理等について学ぶ。

多面的で総合的な子ども理解

子どもたちの自己実現を図るため、一人一人について広い視野からの共感的理解を深め、信頼関係を築くことのできる教員を養成する。

障がいのある子どもたちとともにある学級づくり

学級の中で子どもたちにとっての必要な支援の判断や効果的な支援の選択などを通して、全ての子どもたちの居場所となる学級づくりについて学ぶ。

誰もが楽しくスポーツに取り組むための知識や技術

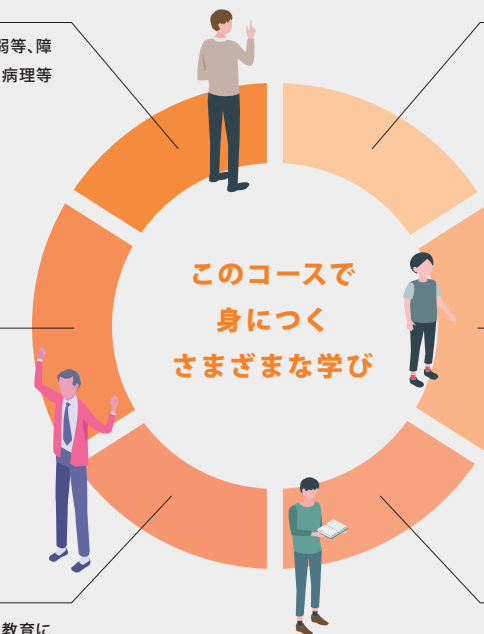
アダプテッド・スポーツ等の概念を理解し、障がい特性に応じた環境の整備や指導により、生涯を通じてスポーツを実践するために必要な科学的な知見や方法論を学ぶ。

誰もが学びやすく、分かりやすい授業づくり

障がいの特性等に関する理解や特別支援教育に関する基礎的な知識、一人一人のニーズに応じた分かりやすい指導内容や指導方法の工夫について学ぶ。

豊かな人間性や人権意識

障がいのあるなしにとどまらず、教育的ニーズのある子どもたちを理解し、一人一人の違いを尊重して多様性を認め合える教員を養成する。



PICK UP 授業

1年次 特別支援教育論



障害のある子どもに対する社会理念の変遷や障害者権利条約の意義を学ぶとともに、映像なども利用してインクルーシブ教育が求められる社会とは何かを考え、一人ひとりのニーズに合った支援方法を考えます。

4年次 障害児アセスメント



発達障害児の指導や支援には知能検査などの客観的手法を用いたアセスメントが必要となります。発達障害児におけるアセスメントについて学び、活用できるようになることを目的とします。

PICK UP ゼミ | 曾根裕二ゼミ

専門領域は「アダプテッド・スポーツ科学」と「特別支援教育」です。スポーツや体育などの身体活動をするうえで、何らかのニーズがある人を対象として、身体活動へのアクセスの方法を考える応用的な分野になります。ゼミでは、知識を身につけることはもちろんのこと、障がいのある人たちと関わりながら、学んだ知識を実践に活かすための試行錯誤、実践で学んだことや感じた疑問を理論的に考えることを心掛けています。



カリキュラム

■…卒業必修科目 ※科目名、カリキュラムは2023年度入学生用に開設を予定しているものであり、変更される場合があります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	総合教育科目	■ 言語活動 ○ 基礎数学 ○ 基礎理科 ○ 法学 ○ 経済学 ○ 家庭と社会 ○ 生命の尊厳と倫理 ■ 情報処理I ■ 情報処理II	○ 現代社会と教育		
	コミュニケーション科目	■ 英語Ia ■ 英語Ib	■ 英語IIa ■ 英語IIb ○ 英語IIIa ○ 英語IIIb ○ 中国語a ○ 中国語b ○ 手話a ○ 手話b ○ 海外語学研修		
	教職基礎科目	■ 教職論 ■ 教育原論 ■ 学校教育心理学 ■ 日本国憲法 ■ 特別ニーズ教育論		■ 教育行政学	
	体育基礎科目	■ 基礎体育I ■ 基礎体育II ○ 体育実技(陸上競技I) ○ 体育実技(水泳I) ○ 体育実技(器械運動I) ○ 体育実技(柔道I) ● ○ 体育実技(剣道I) ● ○ 野外活動実習I(夏季) ○ 野外活動実習II(冬季) ●:2科目より1科目を選択(保健体育免許必修)	○ 体育実技(ダンスI) ○ 球技(Iバレーボール) ○ 球技(バスケットボール) ○ アダプテッド・スポーツ実技	○ ニューススポーツ	
	保健基礎科目	○ 体力測定評価	○ 機能解剖学	○ 精神保健学 ○ 栄養教育	
専門科目	教職専門科目	■ 道徳教育の指導法	■ 教育課程論 ○ 発達障害教育総論	■ 教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む) ■ 教育相談 ○ 教育実習(幼稚園) ○ 教育実習(初等) ○ 教育実習(中等) ○ 人権教育 ○ 教育法規 ○ 介護等体験(事前事後指導を含む)	○ 教育実習(特別支援) ○ 教職実践演習(幼稚園・初等・中等) ○ 教職特講(学習評価論) ○ 教職特講(学級経営) ○ 教職特講(教育課題研究) ○ 教職特講(ICT活用教材研究) ○ 教職特講(小学校英語) ○ 情緒障害教育総論
	小学校保健体育 幼児	■ 幼児理解	■ 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	■ 生徒指導論・進路指導論	
	共通基礎科目	■ 基礎演習			
	共通専門科目			■ 専門演習I	■ 専門演習II(卒業論文を含む)
コース専門科目	小学校教育コース	○ 器楽演習	■ 国語科概論(書写実習を含む) ■ 社会科概論 ■ 算数科概論 ■ 理科概論 ■ 生活科概論 ■ 音楽科概論 ■ 図画工作科概論 ■ 家庭科概論 ■ 体育科概論 ■ 英語科概論 ■ 教科教育法(国語) ■ 教科教育法(社会) ■ 教科教育法(算数) ■ 教科教育法(理科) ■ 教科教育法(体育) ○ 書写実技	■ 教科教育法(生活) ■ 教科教育法(音楽) ■ 教科教育法(図画工作) ■ 教科教育法(家庭) ■ 教科教育法(英語) ○ 音楽実技	
	保健体育教育コース	○ 応用実技(陸上競技II) ○ 応用実技(水泳II) ○ 応用実技(器械運動II) ○ 体育原理★ ■ 生理学(運動生理学を含む) ○ アダプテッド・スポーツ論 ○ レクリエーション教育論	○ 応用実技(柔道II) ○ 応用実技(剣道II) ○ 応用実技(ダンスII) ○ 体育心理学★ ■ 運動学・運動方法学 ■ 衛生学・公衆衛生学 ■ 学校保健(小児保健・学校安全を含む) ■ 運動療法(救急処置を含む) ■ 保健体育科教育法I ■ 保健体育科教育法II ■ 保健体育科教育法III ○ レクリエーション教育実技	○ 球技(サッカー) ○ 球技(ソフトボール) ○ 球技(ハンドボール) ○ 球技(テニス) ○ 体育経営論★ ○ 社会的養護 ○ 子どもの家庭支援の心理学 ○ 保健体育科教育法IV ○ バイオメカニクス論 ○ アダプテッド・スポーツ実習 ○ アダプテッド・スポーツ指導法 ○ 体力づくり論 ○ リトミック ★:5科目より3科目を選択(保健体育免許必修)	
	幼児教育コース	■ 幼児と健康 ■ 幼児と環境 ○ 保育原理 ○ 子ども家庭福祉 ○ 現代社会と福祉 ■ 保育内容総論	■ 幼児と言葉 ■ 幼児と音楽表現 ■ 図画工作実技(幼児と造形表現) ■ 幼児と人間関係 ■ 健康領域指導法 ○ 子ども家庭支援論 ○ 乳児保育I ○ 子どもの健康と安全 ○ 保育計画論 ○ 保育実習I(施設) ○ 保育実習指導I(施設)	■ 人間関係領域指導法 ■ 環境領域指導法 ■ 言葉領域指導法 ■ 表現(造形)領域指導法 ■ 表現(音楽)領域指導法 ○ 社会的養護 ○ 子どもの家庭支援の心理学 ○ 乳児保育II ○ 保育実習II(保育所) ○ 保育実習指導II(保育所) ○ 保育実習III ○ 保育実習指導III	○ 保育実習III ○ 保育実習指導III ○ 社会的養護演習 ○ 保育実践演習 ○ 子どもビジネス経営論
	特別支援教育コース	○ 特別支援教育論 ○ 知的障害者の心理・生理・病理	○ 肢体不自由者の心理・生理・病理 ○ 病弱者の心理・生理・病理 ○ 知的障害者の発達と心理 ○ 障害児の教育課程	○ 知的障害教育指導法 ○ 肢体不自由教育指導法 ○ 病弱者教育指導法 ○ 重複障害教育総論 ○ 言語障害教育総論 ○ 感覚障害教育総論	○ 障害児アセスメント ○ 特別支援教育特講(自立活動)
キャリア科目	■ 学校インターンシップ	○ 学校インターンシップ(初等) ○ 学校インターンシップ(中等) ○ 学校インターンシップ(特別支援) ○ キャリアデザインI	○ キャリアデザインII		

教員一覧

[教授]

石塚 真子	音楽教育学 民俗音楽
泉谷 章仁	教育学(教育行政 学習評価 小中一貫)教科教育学(社会 英語)
今堀 美樹	社会福祉援助技術 カウンセリング 児童福祉
植木 章三	公衆衛生学 応用健康科学 アダプテッド・スポーツ科学
蛸谷 みさ	国語科教育学 学級経営論 学校経営論
岡崎 均	社会科教育学 情報教育 歴史教育
加藤 良徳	日本語表現法 日本語学(書記史)
金子 勝司	レクリエーション 健康社会学
竹内 亮	理学療法学 アダプテッド・スポーツ 運動処方
中川 一彦	算数教育学 数学教育学
藤井 茂樹	特別支援教育 発達障害学
藤原 彰子	特別支援教育

八木 秀文	教育方法学(授業研究、授業論、生活指導論、学習集団論、カリキュラム論など)
吉美学	教諭としての指導力を高めることに関する研究 学校力の向上に関する研究

[准教授]

神山 真一	教育学 理科教育 科学教育
曾根 裕二	アダプテッド・スポーツ 特別支援教育(主に肢体不自由)における保健体育
高宮 正貴	教育哲学 教育思想史 道徳教育学
土田 幸男	教育心理学 生理心理学 特別支援教育 ワーキングメモリの個人差に関する研究 心理アセスメント

浜上 洋平	体育科教育学 スポーツ教育学
松本 直子	幼児教育 発達心理学

[講師]

栗田 昇平	体育教育学
横井 光治	高齢者福祉 介護福祉
吉田 雅子	英語教育学 第2言語習得論 道徳教育

2023年4月1日現在



Interview

教員研究紹介.01

スポーツ傷害予防と 競技パフォーマンス 向上をめざし、 現場指導と研究の 双方に取り組む。

体育学部 教授 下河内 洋平

スポーツ傷害のメカニズムを解明し、
その予防と競技パフォーマンス向上を
サポートする。

本場アメリカでアスレティックトレーナーの勉強に取り組むうち、競技パフォーマンスと傷害の関係性について興味を持つように。膝関節前十字靭帯損傷など、主に下肢関節の急性スポーツ傷害のメカニズムやその予防、危険因子について研究しています。前十字靭帯損傷は、着地動作などにおいて、接地後約0.04秒程度という短時間で生じると考えられています。そのため、傷害予防には、地面からの衝撃を小さくすることや、衝撃を受ける方向が身体に対して安全であることが非常に重要です。一方、競技において、より素早い踏切や高い跳躍には、強い衝撃や無理な方向からの衝撃が伴うため、一般的には傷害予防と競技パフォーマンス向上の両立は難しいと考えられています。競技者は後者を優先する傾向にありますが、私はこれらの両立をめざし、体力・筋力測定やモーションキャプチャーなどの手法を用いて、研究を進めています。

スポーツ傷害予防と競技パフォーマンス向上の
共通点と相違点を明確にすることも
研究テーマの一つ。

最近、前十字靭帯損傷を引き起こすような特徴を有した選手は一部の競技パフォーマンスが低い傾向にあるという検証結果が出ました。これは、傷害予防のための介入が、競技パフォーマンス向上にもつながる可能性を示しています。スポーツ科学とスポーツ医学を融合したこの研究は、競技者・トレーナー・理学療法士・鍼灸師などスポーツに関わるすべての人に有用な知見を提供できると考えています。



Profile

2003年から2006年まで米国のUniversity of North Carolina at Greensboroにおいてアスレティックトレーナーとして選手のケアやリハビリテーション指導と学生アスレティックトレーナーの教育を行う。2008年から2011年まで大阪体育大学ATルームで選手のケアやリハビリテーション指導などを行う。また、2006年にUniversity of North Carolina at Greensboroにおいて運動・スポーツ科学分野のスポーツ医学・アスレティックトレーニング専攻において博士号を取得し、国内・国際学術誌や国内・国際学会において継続的に学術論文の出版や学会発表を行ってきた。

Interview

教員研究紹介.02

時代とともに 移り変わってきた リカバリーに対する 捉え方と考え方。

体育学部 教授 菅生 貴之

ひと昔前までは、
忍耐力が試されるような時代。
現代ではどう変わってきているか。

ひと昔前までは、スポーツ選手でも長時間の練習にキツイ練習が当たり前の時代。今も昔も、スポーツ選手は様々なストレスを感じながら競技生活を送っています。我が国のスポーツ指導現場においては、練習は多くの時間実施するべきで、一日練習を休むと取り戻すのに何日もかかるといったことが言われてきました。「休むこと=悪」と捉えがちな我が国のスポーツ指導現場の考え方が、過剰な指導や競技のみを重視する傾向などの負の側面を生み出しているのではと考えています。これらの昔では当たり前だった考え方が、スポーツの実力発揮を阻害する要因になるということから、現代では根性論や忍耐力を試されるような練習や指導法は見直されてきました。

適切なタイミングと方法で、
十分なリカバリーを取ることが
最大のパフォーマンスを発揮。

リカバリーというのは、「アスリートが以前のパフォーマンスにもどる、または超える能力を得ることにつながるプロセス全体」という定義があります。ただ休むということではなく、能力を高めるために必要なことであり、「適切なタイミングと方法で、十分なリカバリーを取る」ということを、選手自身はもちろん、指導者も十分に理解しておくことが必要です。

今後は、スポーツ選手が自身の心を自らで整える、「セルフコントロール（自律訓練法）」という技法を選手に指導し、それらの成果がどのように試合で発揮されるのかなどをデータで示すことで、選手にとってリカバリーのための方法として有効であることを科学的に証明していきたいと考えています。



Profile

2006年より大阪体育大学に着任。前職は国立スポーツ科学センター研究員。2013年より、ゴルフのナショナルチームメンタルコーチを務め、ゴルフ選手の心理支援を行っている。研究ではスポーツ選手の心と身体の間わりについて、自律神経機能や内分泌機能を指標とし生理心理学的に検討を行っている。

Interview

教員研究紹介.03

スポーツのファンの増加、
ビジネスとしての活性化を、
マーケティング戦略で
実現する。

体育学部 教授 藤本 淳也

スポーツマーケティングの研究は、
根拠をもってスポーツ現場の課題を
解決する。

1984年のロサンゼルスオリンピック開会式に衝撃を受け、スポーツ
マネジメント研究の分野へ。主にJリーグやラグビーのスタジアムで
のアンケート調査や、WEB・SNSでの調査を実施し、地域・年齢・
ファンの度合いなど、属性ごとに特性やニーズを分析。チームへのロイ
ヤリティ向上（ファン化の促進）につながる要因や、行動に影響する
要因の解明をめざしています。例えば、ファンの一部に新たな呼称
（〇〇女子など）が生まれると、そこに新しいマーケットが誕生し、
それを狙ったマネジメント戦略がスタジアム動員数やグッズの売上
の増加に繋がります。昔は、研究の意義や活用性について現場の理解を
得られないこともありましたが、実績の積み重ねやゼミ生の活躍など
により、現場の方々とコミュニケーションをとりながら研究が進めら
れるようになりました。

集客に悩む地域社会の
イベント活性化に役立つ。

今後は、マイナースポーツ業界でも研究をすすめ、スポーツを活かした
地域社会の活性化に取り組みます。また、大学スポーツ振興を担う
組織である大学スポーツ協会（UNIVAS）に協力し、大学スポーツの
価値向上にも取り組んでいます。

Profile

1965年宮崎県生まれ。鹿屋体育大学卒業、同
大学院体育学研究科修了。1993年に大阪体
育大学助手。イリノイ大学客員研究員、フロリダ
州立大学客員研究員を経て現職。日本スポーツ
マネジメント学会理事。大学スポーツ協会
（UNIVAS）理事。大学スポーツコンソーシアム
KANSAI副会長。関西経済連合会「関西スポ
ーツ振興推進協議会」委員。著書は「スポーツマ
ーケティング改訂版」（大修館書店、2018年、共
著）、「スポーツ産業論入門第7版」（杏林書院、
2021年、分担執筆）など。

Interview

教員研究紹介.04

教育の現場での経験から
見えてくる課題の解決に
取り組み、新たな教育の
あり方について考える。

教育学部 教授 中川 一彦

子どもが算数のよさを感じながら
本質に迫る授業方法と
復習型家庭学習ノートの効果を研究。

現在進めている研究は大きく2つあります。1つめは、子どもが算数に
感じている気持ちをもとにして展開する授業のあり方です。「え?どうし
て?」「考えてみたい!」「なるほど!」「おもしろい!」など、子どもたち
はいろんな気持ちとともに学習しています。その気持ちを引き出すため
に、算数を数学的な視点で捉えながら、どんな教材を準備するのか、ど
う子どもに働きかけるのか、どんな活動を通して子どもが学ぶようにす
るのかなどを追っています。2つめは、子どもの確かな学びを支える
復習型家庭学習ノートのあり方です。授業の復習として「学習したこと」
「分かったこと」「思ったこと」の3段階構成で継続的に書くことで、子
どもの主体性、思考力や表現力の育ちを期待できます。この家庭学習ノ
ートについて、小中学生が実際に書いた授業ノートや家庭学習ノートを観
察し、子どもたちが主体的に学ぶ様子や、家庭学習で感じている気持ち
などを捉えながら、子どもの学びが変容する様子や家庭学習ノートの効
果などについて追っています。

これからの時代を生きる子どもたちの気持ちを
大切にしたい新たな教育のあり方の追究

ICT機器の活用やプログラミング教育など、時代の流れに伴って
教育の内容や教育の方法は変化し続けてきています。算数教育や
家庭学習ノートにおいても、時代の変化に伴い、内容的にも方法的
にも今後まだまだ探る余地がたくさんあると考えています。だから
こそ、子どもの気持ちを考えることを大前提とした算数の授業展開
や家庭学習ノートのあり方について深く追究することで、その時代
を生きる子どもの学びを支えることができ、これからの新たな教育
のあり方につながることを考えています。

Profile

1968年大阪府生まれ。大阪教育大学大学院
教育学研究科実践学校教育専攻修了。大阪府
公立小学校教員、国立大学附属小学校教員、
富山県公立小学校教員、大阪府公立中学校
教員として24年勤務。その後、他大学の教員と
して7年勤務し、2021年より大阪体育大学へ。
算数・数学教育を専門領域とし、子どもの気持ち
をもとにした算数や数学の授業開発に取り組み。
教育学修士。



Career support

未来の夢の実現に向けて 1人ひとりに寄り添い 就職活動を全面的に バックアップ。

手厚いキャリアサポート

公務員試験、教員採用試験の現役合格者は、ともに3年連続で過去最多。企業の人事担当からも高評価。徹底したサポートで、あなたの卒業後の夢をかなえます。



本学のキャリア支援は、公務員・民間企業などへの道をサポートする「キャリア支援センター」と、教員採用試験合格に向けて経験豊富なスタッフが徹底指導する「教職支援センター」が、車の両輪となって高い実績を残してきました。2021年度から両センターを統括する組織として「キャリア支援部」を創設し、連携をさらに強固にして、学生にとってより効果的なサポートを実施しています。

その成果もあり、卒業生の就職先は幅広い分野に及んでいます。2022年度実施の公務員試験（警察官・消防官・自衛官・行政など）に3年連続最多となる90名（延べ）、教員採用試験では、3年連続で過去最多となる70名（延べ）が現役合格しています。一般企業ではスポーツメーカー、金融、鉄道、マスメディアなど多彩な業種に進んでいます。

e-Learning資格コーナー

学生のライフスタイルに合わせてeラーニングを有効に利用し、授業、部活などと両立できる学びを進めていくことができます。

- 語学系** TOEIC®LISTENING&READING TEST(400点コース/500点コース/650点コース/800点コース)
- マナー系** 秘書技能検定/サービス接客検定/ビジネス実務マナー検定
- PCスキル** Microsoft Office Specialist2016/2019(Word/Excel®/PowerPoint®)
- 不動産業界** 宅地建物取引士/リテールマーケティング(販売士)検定
- 金融業界** ファイナンシャル・プランニング技能検定
- 統計系** 統計検定/ビジネス統計スペシャリスト
- 旅行業界** 国内旅行業務取扱管理者/海外旅行業務取扱管理者
- 会計系** 日商簿記検定/ビジネス会計検定試験®
- 情報・通信** ITパスポート試験
- 色彩系** 色彩検定®
- その他** 医科医療事務検定/ビジネス実務法務検定®
- 就職試験** 筆記試験(玉手箱)対策講座

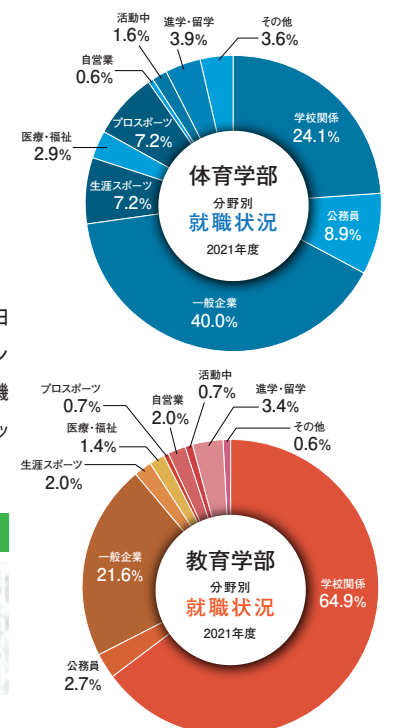
TOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。本冊子はETSの検討を受け、またその承認を得たものではありません。Microsoft Softwareは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

就職DATA

卒業生の就職先は、学校関係、公務員、企業、生涯スポーツなど幅広く、高い就職率を誇っています。

主な就職先 (順不同一部抜粋)

- 【企業】** ミズノ/デサント/アシックス/アルペン/ゼビオ/毎日新聞社/スポーツニッポン新聞社/日刊スポーツ新聞社西日本/参天製薬/小林製薬/日本新薬/ジョンソン・エンド・ジョンソン/ニプロ/日清オイリオグループ/UHA味覚糖/ブルボン/静岡銀行/京都銀行/良品計画/アイリスオーヤマ/積水ハウス/住友林業/大和ハウス工業/日本通運/DMG森精機/キーエンス/三菱電機/YKKAP/鶴見製作所/バラマウントベッド/リコージャパン/丸紅エネルギー/ソニー・ミュージックエンタテインメント/リクルートホールディングス/リゾートトラスト/Sky/西日本旅客鉄道/総合警備保障/セレッソ大阪
- 【学校関係】** 公立小学校、公立中学校、公立高等学校、特別支援学校
- 【公務員】** 警視庁/大阪府警/兵庫県警/大阪市消防局/東京消防庁/刑務官/法務教官/大阪府庁/皇宮警察/海上保安庁
- 【プロ・実業団】** 鹿島アントラーズ/北海道コンサドーレ札幌/サガン鳥栖/ガンバ大阪/ヴィッセル神戸/サンフレッチェ広島/豊田合成/パナソニック/ヴィクトリーナ姫路/大阪ガス/北国銀行/クボタ など



キャリア支援センター



一人ひとりに向きあう支援で、きめ細かくバックアップ。

キャリア支援センターでは、学生一人ひとりが志望する進路の実現に向けて学生の潜在能力の開発・向上に努め、学生が自らキャリアデザインを考え、将来設計ができるよう取り組んでいます。キャリア支援プログラムでは、第一線で働く社会人の生の声を聞く機会を数多く提供。実際に仕事で成果を上げた時の喜びや大変なことなどを語っていただき、学生の「職業観」を養っています。

全学年共通プログラム

- キャリアカウンセリング
- 学内セミナー(企業、公務員等)
- 公務員模試
- 全国公開模擬試験・解答解説
- 各種対策講座(公務員、SPI等)

4年間のスケジュール

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>キャリア支援センターの利用方法を説明し、積極的な活用や学生生活の過ごし方を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション ・キャリアフェスタ(講演会) ・キャリアフォレスト(他大学協同) <p>新入生オリエンテーション</p> <p>これから始まる学生生活がより充実したものになるように、大阪体育大学だからこそ身につく力や考え方についてアドバイス。また、キャリア支援センターでどのようなサポートが受けられるかを説明します。</p>	<p>学生が将来の知見を広げられるよう、キャリアデザインを考えるさまざまな機会を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインI(授業) ・キャリアアプラン、社会人基礎力、マナー、時事問題など) ・グループ面談 ・キャリアフェスタ(OB・OGに学ぶ) <p>キャリアフェスタ(OB・OGに学ぶ)</p> <p>多様な業界・業種の社会人や卒業生の先輩から、自身の就職活動や実際の業務内容、仕事のやりがいなどについて講演いただけます。社会で活躍する先輩の声を聞いて、将来の夢や目標を見つけるきっかけになります。</p>	<p>個別面談を通して学生一人ひとりの目標を明確にし、進路に応じたサポートを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインII(授業) ・個別面談 ・キャリアフェスタ(さまざまな業界を知る) ・企業就活支援講座 ・公務員試験対策講座 ・合同企業説明会/バスツアー ・キャリアプロサム(大体大就活交流会) ・One Day就活集中特訓 ・面接指導 ・応募書類添削 ・未来の相談窓口 ・キャリアだより全員集合 ・企業・団体見学ツアー ・クラブ別キャリアガイダンス <p>キャリアプロサム(大体大就活交流会)</p> <p>企業の人事担当者と交流できる機会です。実際に企業にはどういった人材が求められているのか、どこに注目されているかなどを知ることができ、就職活動を行う中で手助けになります。</p>	<p>目標への挑戦を徹底的にフォロー。卒業後も在学中と同じようにキャリア支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募書類添削 ・面接指導 ・就職未決定者個人指導 ・最終キャリアガイダンス ・進路調査 <p>面接指導</p> <p>自分の思いや経験を、採用面接でわかりやすく伝えるための練習ができます。企業で採用活動を行っていたキャリアスタッフが丁寧に指導するので、本番では落ち着いて自分の言葉で話せるようになります。</p>

担当者の声 一人ひとりの学生に寄り添う日本一のキャリア支援を目指しています

キャリア支援センター長 高津 真人



企業の人事担当者から、大体大生は「元気さ」や「粘り強さ」、「リーダーシップ」が高いという評価をよくお聞きし、実際に大手企業をはじめ高い就職実績があります。大体大生がクラブ活動や本学独自の実習、インターンシップなど学外の学び、ゼミ、キャリア教育を通じて人間力を磨いた成果だといえます。

キャリア支援センターでは金融、スポーツメーカー、人事採用など多彩な企業・職種を経験した専従スタッフが学生一人ひとりに寄り添う充実した体制を整えています。

プログラムの豊富さが特長で、3年次になると個別面談、キャリアフェスタ、企業就活支援講座、公務員試験対策講座、One Day就活集中特訓などをはじめ、平日の昼休みに企業の採用担当者を招いた学生セミナーを実施しています。

スタッフは学生と二人三脚で面接練習などに取り組み、気軽に何でも相談に来

てもらえるよう家族的な人間関係づくりに気を配っています。各スタッフが学生とLINEなどで交流や情報交換をし、一度センターに相談に来た学生全員の顔と名前はもちろん覚えてます。卒業後も交流は続き、職場での人間関係などに悩む卒業生とファミレスでじっくり語りあうこともあります。

令和4年度公務員採用試験で過去3年最多となる90人(延べ)が合格するなど公務員試験での高い実績は、学習支援を行うラーニング・コモンズなどの連携の成果です。教養試験に向けて苦手な人も多い数的推理・判断推理などの対策を昼休みの公務員試験対策講座でしっかりと積みます。

就職活動(内定や合格による進路決定)はあくまで通過点。最も重要なのは、学生それぞれが社会に出て幸せの実現を目指すことです。一人ひとりの学生に寄り添う日本一のキャリア支援センターを目指しています。

教職支援センター



学生の意識を高める指導・サポート体制があります。

教職に関する履修の相談や教員採用試験に向けたさまざまなプログラムを実施し、教員免許の取得および教職への就業を支援しています。採用試験説明会では各自治体から教員採用人事担当者を招いて概要や変更点を詳しく説明するため、早くから試験を意識した対策が可能です。

「教師を目指す学生」支援プログラム

- 筆記試験対策講座 教職教養、数的処理・判断推理、一般教養、専門教養(小学校・保健体育)
- 実技対策講座 面接、模擬授業、小論文、保健体育実技、小学校ピアノ

説明会・講座等 年間スケジュール

4月-5月	7月-8月	10月	11月	12月	1月	3月
<p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験説明会(大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、豊能地区、京都府、京都市、和歌山県など) ・熊取町学校ボランティア説明会および登録会(前期) ・第3回教員採用全国公開模擬試験 ・教員・公務員1次試験(判断推理等)対策講座 <p><教員志望の4年生対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験大学推薦制度説明会(2回目) ・教員採用試験面接練習事前説明会 <p><3年生対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員養成セミナー説明会 	<p><4年生対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験 実技対策 ・外部講師による教員採用試験 専門保健体育筆記試験対策 ・教員採用試験 面接・模擬授業対策 	<p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊取町学校ボランティア説明会および登録会(後期) <講師希望の4年生対象> ・講師登録希望者説明会 	<p><4年生対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府講師登録 ・京都府教員採用試験説明会 <p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート模試(教員模試) ・熊取町学校ボランティア説明会および登録会(後期2回目) ・教員採用試験説明会(大阪府、大阪市、堺市など) 	<p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 教員採用全国公開模擬試験 	<p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験対策講座 事前説明会 	<p><全学年対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験対策講座 ・自治体別模試(教員模試) <次年度に大学推薦を希望する新4年生対象> ・教員採用試験大学推薦制度説明会(1回目)

<p>■ 教員採用試験説明会</p> <p>各教育委員会の担当者が学内で実施する、教員採用試験説明会(近畿地区)です。主な対象は、教員を志望する新4年生ですが、2~3年生も参加できます。</p>	<p>■ 教員養成セミナー説明会</p> <p>大阪市や堺市などでは、教員を志望する3年生へ、教員採用試験に向けた教員養成セミナーが実施されています。受講希望者を対象に、概要をお伝えします。</p>	<p>■ スタート模試(教員模試)</p> <p>教員を志望する学生を対象に、スタート模試(有料)を実施します。学習スタート期の実力確認に最適。自身の苦手分野を把握することで、今後の目標設定に役立ちます。</p>
--	--	---

担当者の声 夢をかなえる指導のきめ細かさに自信があります

教職支援センター長 木谷 法子



公立学校の教員採用試験は令和5年度採用では3年連続で過去最多となる70名が現役合格し、このほか既卒者は115名が合格しています(2023年3月末現在)。

本学の卒業生は教育界で重要な地位を占めています。本学出身の校長、教頭は多数にのぼり、本学出身の教員は、例えば大阪市内の中学校ではその大半の学校に在籍しています。将来、教員をめざされる方にとって、先輩教員が身近に数多くいるメリットは大きいと思います。教職支援センターでは、教員になる夢をかなえるために学生一人ひとりを徹底サポートします。校長経験者を中心に模擬面接やさまざまな相談に応じ、指導の手厚さ、きめ細かさに自信を持っています。

校長経験者からスタッフの多くは本学の卒業生なので、「やればできる、夢はかなう」という言葉に説得力を感じてもらえると思います。学生と同じ目線に立ち、自分たちの経験やノウハウを伝えています。また、学生にモチベーションをキープしてもらうために、どんな時でも学生の

話を聞くことを最優先にしています。

面接は時に厳しく徹底して練習しています。筆記試験対策では学習支援室と連携して、筆記が苦手な学生向けに独自の学習プリントを作成するなど、一人ひとりに応じた指導を心がけています。

加えて、教職関連の出版社の採用試験合格プログラムを導入し、専門教養のオンライン講座や全国自治体の過去問分析講座などを、学生の費用負担なく受講できるようにしています。模擬試験で最低ランクの点数だった学生が奮起して合格するケースもあります。クラブに集中して勉強はまだまだだった学生が、1日3問ずつ苦手だった過去問をコツコツと解いていき、合格したこともありました。教職支援センターは教員になる夢をかなえる場であり続けたいと考えています。

SPOT
01

内定先：株式会社ヒマラヤ

お客様と接する喜びを知り スポーツの楽しさ 伝えたい。

体育学部スポーツ教育学科コーチ教育コース4年 菅谷 拓未 さん

入学時からスポーツ関係の企業に憧れていました。スポーツ用品店でアルバイトをしたことで、お客様とかかわる仕事の楽しさを知り、スポーツ用品店を志望しました。就職活動では、1社目の訪問ではエントリーシートがまだしっかり書けておらず、キャリア支援センターの方に、どう書いたら企業の方に興味を持ってもらえるかなど細かく指導を受けました。また、センターの仲立ちで、企業で働く卒業生の方に連絡を取って、社風などを詳しく聞けたのも企業選びに役立ちました。小さなころから様々なスポーツを経験したので、社会でスポーツの楽しさを伝えたいです。お客様と接する仕事や、VMDというお客様が商品を見やすい売り場づくりにかかわりたいと思っています。



SPOT
03

内定先：福岡県教育委員会

ハンドボールに打ち込み 培ってきた強みを 生徒に伝えられる高校教員に。

体育学部 スポーツ教育学科 スポーツ心理・カウンセリングコース4年
弓削 春風 さん

中学の頃から始めたハンドボールで大学日本一になりたいという思いから大阪体育大学へ。競技に打ち込める環境があり、ハンドボール・アジアジュニア選手権の日本代表にも選出していただき、日の丸を背負った戦いも経験できました。恩師の先生からの勧めもあり、いつしか教員を目指すようになりました。教職支援センターの方から手厚いサポートを受け、卒業後は地元の福岡県で高校の保健体育教員として採用されることになりました。「全力でやることを恥じない生徒を育てる」をキーワードに、自分自身も何事にもチャレンジしながら、ハンドボール人生で培ってきた強みを発揮しつつ、生徒自身が苦手なことでも楽しいと思ってもらえる環境作りをしていきたいと思っています。



SPOT
02

内定先：大阪市消防局

救急救命士として 助けを求める市民の命を 救いたい。

体育学部 スポーツ教育学科 コーチ教育コース4年 吉川 真広 さん

消防士をめざすようになり、キャリア支援センターを積極的に利用していました。エントリーシートを添削していただいたり、面接練習を行っていただきました。面接練習では、緊張して苦手意識はありましたが、具体的に的確なアドバイスをいただいたことで、リラックスして臨むことができるようになりました。3回生の頃から公務員試験に向けた勉強をはじめ、部活引退後には本腰を入れて1日7～8時間程度勉強しました。大阪市内の救急搬送件数は、大阪府内で最多です。救急救命士の資格を取得し、市民の命を守る救急隊員を目指します。



SPOT
04

内定先：兵庫県教育委員会

子どもと向き合う時間を 大切にし 日々を全力で 楽しめる教員でありたい。

教育学部 教育学科 小学校教育コース4年 若浦 勇樹 さん

教員として働く両親の姿を見て教職の道を目指し、指導者として子ども達に運動の楽しさを伝えられるよう、小中高の免許が取れる大阪体育大学へ入学。教育実習時に見た、楽しんで学ぶ子ども達の笑顔に惹かれ、小学校教員を目指すようになりました。4年間の大学生活で、子ども達に人として人間として望ましい生き方、在り方を示し、指導することの重要性を学ぶことができました。また、素敵な友人との出会いが、今の自分に成長させてくれたのだと実感しています。大学の先生方には何度も面接指導をしていただき、自信を持って教員採用試験に臨むことができました。卒業後は洲本市の小学校で勤務します。これから教員として、子どもと向き合う時間を大切に、日々を全力で楽しめる教員でありたいです。



学びにスポーツにこれ以上ない

恵まれた環境がここにある。



Facility

施設



豊かな緑に包まれた丘陵地に広がるキャンパスは総面積約27万2000㎡で甲子園球場7つ分の広さ。日本を代表する体育大学である本学ならではの各競技の専用スポーツ施設が多数整備され、スポーツに打ち込むためには最適な環境です。教室棟やバイオメカニクスなどの高度な研究・実験施設、宿泊施設などがコンパクトに立地し、4年間、充実したキャンパスライフを過ごせます。



キャンパスをwebでチェックしよう！

キャンパスの雰囲気を動画で見よう



各施設をいろいろな方向からチェック！



Campus 紹介 甲子園球場7つ分のキャンパスに、学び、研究、スポーツの全施設が集中しています。

- 1 野球場
- 2 屋内野球練習場
- 3 陸上競技場
- 4 サッカー場
- 5 ラグビー場
- 6 テニスコート
- 7 多目的グラウンド
- 8 第6体育館
- 9 屋外プール
- 10 第1体育館
- 11 第2体育館
- 12 第3体育館
- 13 第4体育館
- 14 第5体育館
- 15 ハンドボールコート
- 16 中央棟 図書館／ラーニングcommonsなど
- 17 N号館 学生食堂など
- 18 L号館 大教室／トレーニングルームなど
- 19 B・R号館 体育学部研究棟／総合実験室／バイオメカニクス実験室など
- 20 C号館
- 21 22 D号館 アスレティックトレーニングルーム／診療所など
- 23 セミナーハウス
- 24 Q号館 教育学部研究棟
- 25 P号館 教室棟
- 26 O号館 家庭科室／理科室／音楽室／図画工作室など
- 27 教職員・学生・来客用駐車場
- 28 大阪体育大学浪商中学校・高等学校



Facility



第1体育館

1階は柔道と剣道、なぎなたの道場です。柔道場は、クッション性が高く安全性に優れた、国際規格に対応した畳を使用しています。剣道場は、床に杉材を使用し素足での踏み込み動作に適した床構造。試合場を3面とれる広さで、実戦を見据えた練習が可能です。また、2階はバスケットボール専用フロアとなっており、コートを2面とれる広さがあります。なお、体育館は全館冷暖房完備です。



第3体育館

1階は最新のトレーニングマシンが多数そろったS&C(ストレングス・アンド・コンディショニング)ルーム。ロッカールーム、シャワー室を完備しています。2階は国際標準の設備を備えた体操競技専用フロアです。体操競技のほぼ全種目を1フロアで行うことができます。



第5体育館

ハンドボール専用の体育館です。体育館に隣接して屋外ハンドボールコートもあり、いつでも練習や競技を行うことのできる環境が整っています。

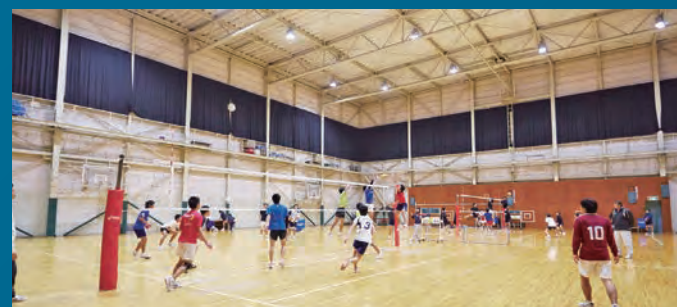
第6体育館

1階は25m×10コースの公認屋内プールで、水深は飛び込み側が国際規格の2.00m、ターン側が国内規格の1.35m。2階はレクチャールーム。3階は多目的アリーナで障がい者や子どもの運動教室などでも利用。壁面にボルダリングウォールも設置。



第2体育館

1階はダンスや空手などで使用。片側一面が鏡で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンも手掛けた舞台照明会社による舞台照明環境が整えられています。2階はバドミントンや新体操のほか、トランポリンで使用できるよう、天井が高い設計です。



第4体育館

バレーボール専用の体育館です。コートを2面とることができ、天井が高く広々とした構造になっています。床面は、跳躍を繰り返しても身体に負担が少ない特殊構造です。



野球場

両翼90m、センター120mの正規グラウンド。建設当時から内野の黒土の範囲と産地は阪神甲子園球場に合わせています。ナイター設備、8人が同時に使用できるブルペンや雨天練習場のほか、大型スコアボードも完備しています。



ラグビー場

世界で初めて国際ラグビーボード(現ワールドラグビー)から公式認定された、人工芝ラグビー場。より高いクッション性をもち、ミスト散水装置も備え、体に優しいグラウンドです。隣接して専用トレーニングルームがあり、時間を問わずにトレーニングができます。



サッカー場

西日本の大学初の全面人工芝グラウンドです。ナイター設備を完備しており、夜間でも練習や試合が可能。フィールド内にはミスト散水装置を備え、年間を通して最高の状態でプレーできます。レクチャールーム、ロッカールームもあります。

陸上競技場

全天候型8レーン400mトラックの第三種公認競技場。2022年に全面改修されました。4か所にフォースプレートを埋設できる設備があり、科学的研究、より効果的な練習が可能。レクチャールームなども併設。2007年大阪世界陸上でタイソン・ゲイ、アリソン・フェリックスら米国代表が事前合宿しました。



テニスコート

東コート5面は耐水性・耐摩耗性に優れたアクリル系ハードコートで全米オープン会場と同じサーフェス。西コート3面はウェット・ドライどちらでも適切なすべりと弾力性を保つ、砂入り人工芝です。すべてに照明を完備。各種の公式戦が可能で、国際テニス連盟公認の国際大会も開かれました。



多目的グラウンド

本学施設群の中で一番高い場所にあり、見晴らしが最高です。水はけにも優れています。アメリカンフットボール、ラクロス、ソフトボール、フィールドホッケー、アルティメット、軟式野球など、さまざまな競技で使用しています。



屋内野球練習場

屋根はドーム型で大学野球屈指の広さを誇る屋内練習場。人工芝や土は神宮球場と同じものを使用しています。また、さまざまな球筋を設定できる最新型のピッチングマシンを6台設置。従来のドラム式に加え、一人での練習も可能なアーム式マシンもあります。

Facility



食堂・エナジーカフェ

300席以上あるレストラン。栄養学の知見に基づき、種目ごとに必要な栄養素やカロリーが考慮された「アスリート定食」などが提供されています。エナジーカフェでは、軽食やドリンクをテイクアウトできます。



OUHSセミナーハウス

約160人が宿泊可能。学内のクラブ合宿をはじめ、全国や海外からの団体合宿にも利用されています。1階は学生ホールやテラスがあり、学生の憩いの場。コンビニも併設されています。



図書館

蔵書20万5000冊、雑誌3300種、新聞15紙。明るく開放感あふれるフロアには体育・スポーツ関係、教育関係の専門書や一般書があります。趣向を凝らした楽しいテーマ展示など、より本に親しめる場となっています。



開学50周年記念館（L号館）

2階は約500席の大会堂・L201で、人数の多い講義や、著名人の講演会などで使用されます。3階のL301（約300席）とモニターなどが連動し同時利用も可能。1階は最新鋭のマシンが並ぶS&Cルームで、ロビーでは元大リーガー・上原浩治投手ら本学出身プロ選手らのユニホームやトロフィーなどを展示しています。



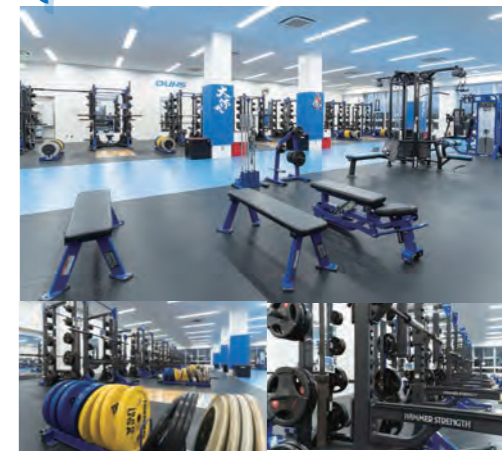
教育学部各実習室

実習や模擬授業は学校現場さながらの環境で行います。理科室には理科授業に必要な実験器具が揃い、音楽室には多種多様な楽器が並びます。家庭科室ではコンロや調理器具を実際に使用して授業を行います。

Pick up

S&Cルーム

約1200㎡のエリアにベンチプレスラック、スクワットラック、プラットフォームが13セットずつ整備され、機能的なトレーニングができるよう工夫が凝らされています。大学の敷地の中央にあるため利用しやすいこともあり、利用者は、コロナ禍前は学生だけでも約7万5000人にのぼりました。S&Cルームは2016年の開学50周年記念館の竣工を機にリニューアルされました。元オリックトレーニングコーチの安田昌玄S&Cディレクターが常駐しているほか、大学院生や4年生がスタッフとしてアスリートをサポートしています。



ATルーム

アスレティックトレーナーの専門資格を持つスタッフのもと、アスリートがケガからの競技復帰をめざしてトレーニングに取り組む施設。テーピングテーブルやトリートメントベッドのほか、ワールプール(渦流浴装置)で血流を増進させるホットバス、エクササイズ後の炎症を抑えるアイスバスなども利用できます。平日は毎日開室しています。



診療所

全国でほぼ唯一、医師が常駐する診療所。スポーツに打ち込む学生へのサポート体制の充実を図るため、2007年に保険診療を開始し、現在の運営になりました。整形外科と内科のスポーツドクターが診察、診断、投薬を行います。併設のリハビリテーション室にはアスレティックトレーナーの資格を持つ理学療法士がおり、整形外科医の診断に基づいたリハビリを受けることもできます。ケガの最初の段階から関わり、学内のみで競技復帰を一貫してサポートする体制が整っています。

担当医師からのメッセージ

内科部長 前島悦子教授

大阪体育大学診療所では、スポーツに打ち込む学生の整形外科的、内科的サポートを行なっています。ケガをした時の競技復帰までのサポートはもちろんのこと、公式戦出場前のメディカルチェック、貧血の治療、健康診断後の二次検診などの他に、不整脈や月経異常についての相談も受け付けています。また、麻疹などの抗体検査、インフルエンザワクチンの接種など、全ての学生が健康的な生活を送り、スポーツに専念できるよう、さまざまなサポートを行なっています。「自分の健康は自分で守る」という意識を持って、診療所を大いに活用してください。



CLUB

強化クラブ クラブ紹介／実績・一覧

強化クラブとは

全国大会、世界大会をめざすクラブを強化クラブと認定。「スポーツ局」（2018年発足）と各クラブとの連携により、円滑な競技力強化体制を図っている。

※本学が定める学業成績基準を満たさない学生は、クラブ活動が制限されます。

※部長、監督名などは変更になる場合があります。部員数は2022年6月現在。



クラブサイトはこちら



ラグビー部

【部長】中井 俊行 【監督】中井 俊行 【部員数】(男子)96名

【2022年度の主な戦績】
関西大学ラグビーBリーグ2位
【これまでの主な戦績】
2006年度第43回全国大学ラグビー選手権ベスト4



ハンドボール部(男子)

【部長】小林 博隆 【監督】下川 真良 【部員数】51名

【2022年度の主な戦績】
全日本学生ハンドボール選手権大会ベスト8
【これまでの主な戦績】
2018年度全日本学生ハンドボール選手権大会優勝(10回目)



剣道部(女子)

【部長】工藤 俊郎 【監督】山中 恵里 【部員数】21名

【2022年度の主な戦績】
第46回関西女子学生剣道優勝大会準優勝
【これまでの主な戦績】
2014年第33回全日本女子学生剣道優勝大会 3位



サッカー部(男子)

【部長】吉沢 一也 【監督】松尾 元太 【部員数】225名

【これまでの主な戦績】
2020年度関西学生サッカーリーグ1部 優勝(3連覇)
2013年 第62回全日本大学サッカー選手権大会優勝



サッカー部(女子)

【部長】吉沢 一也 【監督】石居 宜子 【部員数】37名

【2022年度の主な戦績】
関西学生女子サッカー春季・秋季リーグ1部 各優勝
【これまでの主な戦績】
2006年第15回全日本大学女子サッカー選手権大会 優勝



バスケットボール部(男子)

【部長】三島 隆章 【監督】比嘉 靖 【部員数】60名

【2022年度の主な戦績】
関西学生バスケットボールリーグ1部 8位
【これまでの主な戦績】
第73回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場



ハンドボール部(女子)

【部長】小林 博隆 【監督】楠本 繁生 【部員数】52名

【2022年度の主な戦績】
全日本学生ハンドボール選手権大会優勝(10回目、9連覇)
【これまでの主な戦績】
2020、2021年度日本選手権準優勝



剣道部(男子)

【部長】工藤 俊郎 【監督】村上 雷多 【部員数】55名

【2022年度の主な戦績】
第70回関西学生剣道優勝大会準優勝
【これまでの主な戦績】
2016年第64回全日本学生剣道優勝大会優勝



バスケットボール部(女子)

【部長】三島 隆章 【監督】村上 なおみ 【部員数】45名

【2022年度の主な戦績】
第74回全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト8
【これまでの主な戦績】
2007年第54回、2012年第64回全日本大学選手権大会 優勝



陸上競技部

【部長】高本 恵美
【監督】中西 啄真(投擲)、高本 恵美(跳躍)、貴嶋 孝太(短距離)、友金 明香(中長距離)
【部員数】(男子)153名、(女子)51名

【2022年度の主な戦績】
オレゴン2022世界陸上競技選手権大会
混合4×400mリレー 岩崎 立来 出場
【これまでの主な戦績】
2021年第90回日本学生対校選手権 女子やり投げ 武本紗栄優勝
2020年第89回日本学生対校選手権 男子やり投げ 坂本達哉優勝



テニス部(男子)

【部長】宮地 弘太郎 【監督】宮地 弘太郎 【部員数】51名

【2022年度の主な戦績】

全日本学生テニス選手権シングルス2R

【これまでの主な戦績】

関西学生新進テニストーナメント シングルス準優勝

関西学生テニスリーグ1部優勝、大学王座ベスト4



テニス部(女子)

【部長】宮地 弘太郎 【監督】岡村 修平 【部員数】25名

【2022年度の主な戦績】

全日本学生テニス選手権ダブルス1R シングルス予選決勝

【これまでの主な戦績】

第25回全日本学生テニス選手権シングルスベスト4



水上競技部(女子)

【部長】川島 康弘 【監督】浜上 洋平 【部員数】30名

【2022年度の主な戦績】

第58回 関西女子学生選手権水泳競技大会

50m自由形、400m個人メドレー 優勝、女子総合第4位



体操競技部(男子)

【部長】田原 宏晃 【監督】藤原 敏行 【部員数】42名

【2022年度の主な戦績】

第76回全日本学生体操選手権大会

1部団体総合5位・種目別ゆか優勝

FIG国際チャレンジカップソバトヘイ大会

つり輪3位・平行棒5位



硬式野球部(男子)

【部長】中山 健 【監督】中野 和彦 【部員数】202名

【2022年度の主な戦績】

阪神大学野球リーグ 春季4位、秋季2位

【これまでの主な戦績】

2006年 第55回全日本大学野球選手権大会優勝



柔道部(男子)

【部長】岡村 浩嗣 【監督】生田 秀和 【部員数】23名

【これまでの主な戦績】

2019年講道館杯(全日本体重別選手権大会) 60⁺級出場

2019年全日本学生柔道体重別選手権大会66⁺級ベスト16



体操競技部(女子)

【部長】田原 宏晃 【監督】田原 宏晃 【部員数】19名

【2022年度の主な戦績】

第76回全日本学生体操競技選手権大会1部団体総合8位

【これまでの主な戦績】

2021年 第75回全日本団体選手権 15位



バレーボール部(男子)

【部長】長江 晃生 【監督】西野 祐司 【部員数】41名

【2022年度の主な戦績】

第75回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 出場

【これまでの主な戦績】

2021年第74回 全日本バレーボール大学男子選手権大会 ベスト16



柔道部(女子)

【部長】岡村 浩嗣 【監督】松田 基子 【部員数】14名

【2022年度の主な戦績】

関西学生柔道優勝大会(女子5人制) 3位

【これまでの主な戦績】

2015年 全日本学生柔道体重別選手権大会 優勝(78kg超級)

2016年 全日本学生柔道優勝大会(女子5人制) ベスト8



水上競技部(男子)

【部長】川島 康弘 【監督】尾関 一将 【部員数】39名

【2022年度の主な戦績】

第96回関西学生選手権水泳競技大会 男子総合 4位

第98回日本学生選手権水泳競技大会 男子総合 20位

ジャパンオープン2022(50m) 50m平泳ぎB決勝6位 森圭佑



バレーボール部(女子)

【部長】長江 晃生 【監督】長江 晃生 【部員数】35名

【2022年度の主な戦績】

関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦2部2位

【これまでの主な戦績】

2016年 全日本バレーボール選手権大会天皇杯・皇后杯 ベスト16



ダンス部

【部長】白井 麻子 【監督】白井 麻子 【部員数】(男子)3名、(女子)11名

【これまでの主な戦績】

第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 神戸市長賞受賞

アーティストック・ムーブメント・イントヤマ 2022 特別賞受賞

CLUB
クラブ・同好会



アスレティックトレーナーチーム

[部長]有吉 晃平 [監督]崎濱 星耶
[部員数]〈男子〉20名、〈女子〉16名



アダプテッド・スポーツ部

[部長]曾根 裕二 [監督]曾根 裕二
[部員数]〈男子〉19名、〈女子〉10名



軟式野球部(女子)

[部長]中村 健 [監督]川口 悠真 [部員数]31名



なぎなた部

[部長]土屋 裕睦 [監督]天川 彰子 [部員数]〈女子〉3名



日本拳法部

[部長]ウエインジュリアン [監督]〈男子〉榎並 伸弥、
〈女子〉大谷 陽子 [部員数]〈男子〉1名



アメリカンフットボール部

[部長]藤本 淳也 [監督]鳥居 寿祐 [部員数]〈男子〉41名



アルティメット部

[部長]藤本 淳也 [監督]藤本 淳也
[部員数]〈男子〉42名、〈女子〉19名



空手道部

[部長]中房 敏朗 [監督]高橋 伸一
[部員数]〈男子〉4名、〈女子〉7名



バドミントン部

[部長]浜田 拓 [監督]有吉 晃平
[部員数]〈男子〉22名、〈女子〉15名



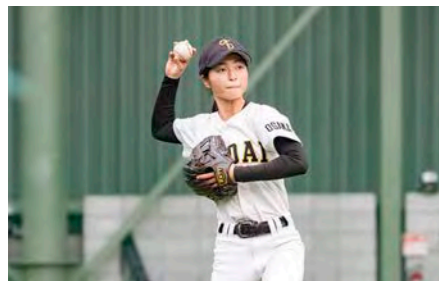
フィールドホッケー部(男子)

[部長]堤 裕之 [監督]松本 芳久 [部員数]9名



フィールドホッケー部(女子)

[部長]堤 裕之 [監督]松本 芳久 [部員数]5名



硬式野球部(女子)

[部長]中山 健 [監督]横井 光治 [部員数]32名



新体操部

[部長]長尾 佳代子 [監督]川添 正勝 [部員数]〈女子〉3名



ソフトボール部(男子)

[部長]竹内 亮 [監督]熊崎 敏真
[部員数]20名



ボクシング部

[部長]岡村 浩嗣 [部員数]〈男子〉7名



野外活動部

[部長]池島 明子 [監督]伊原 久美子
[部員数]〈男子〉11名、〈女子〉9名



ライフセービング部

[部長]中山 健 [部員数]〈男子〉20名、〈女子〉2名



ソフトボール部(女子)

[部長]竹内 亮 [監督]森 智
[部員数]19名



ソフトテニス部

[部長]宮地 弘太郎 [監督]〈男子〉菅 孝文 〈女子〉川原 忠典
[部員数]〈男子〉38名 〈女子〉13名



体育実技研究部

[部長]富山 浩三 [監督]小林 博隆、平川 武仁
[部員数]〈男子〉6名、〈女子〉3名



ラクロス部

[部長]橋本 祐介 [部員数]〈女子〉32名



レスリング部

[部長]壁谷 一広 [監督]姫路 文博
[部員数]〈男子〉8名、〈女子〉3名



幼小体育研究部

[部長]栗田 昇平 [監督]金子 勝司
[部員数]〈男子〉21名、〈女子〉24名



ダブルダッチ部

[部長]高宮 正貴 [部員数]〈男子〉19名、〈女子〉17名



トライアスロン部

[部長]足立 哲司 [監督]足立 哲司
[部員数]〈男子〉10名、〈女子〉3名



軟式野球部(男子)

[部長]中村 健 [部員数]65名



スポーツチャンバラ同好会

[部長]池島 明子 [部員数]〈男子〉7名



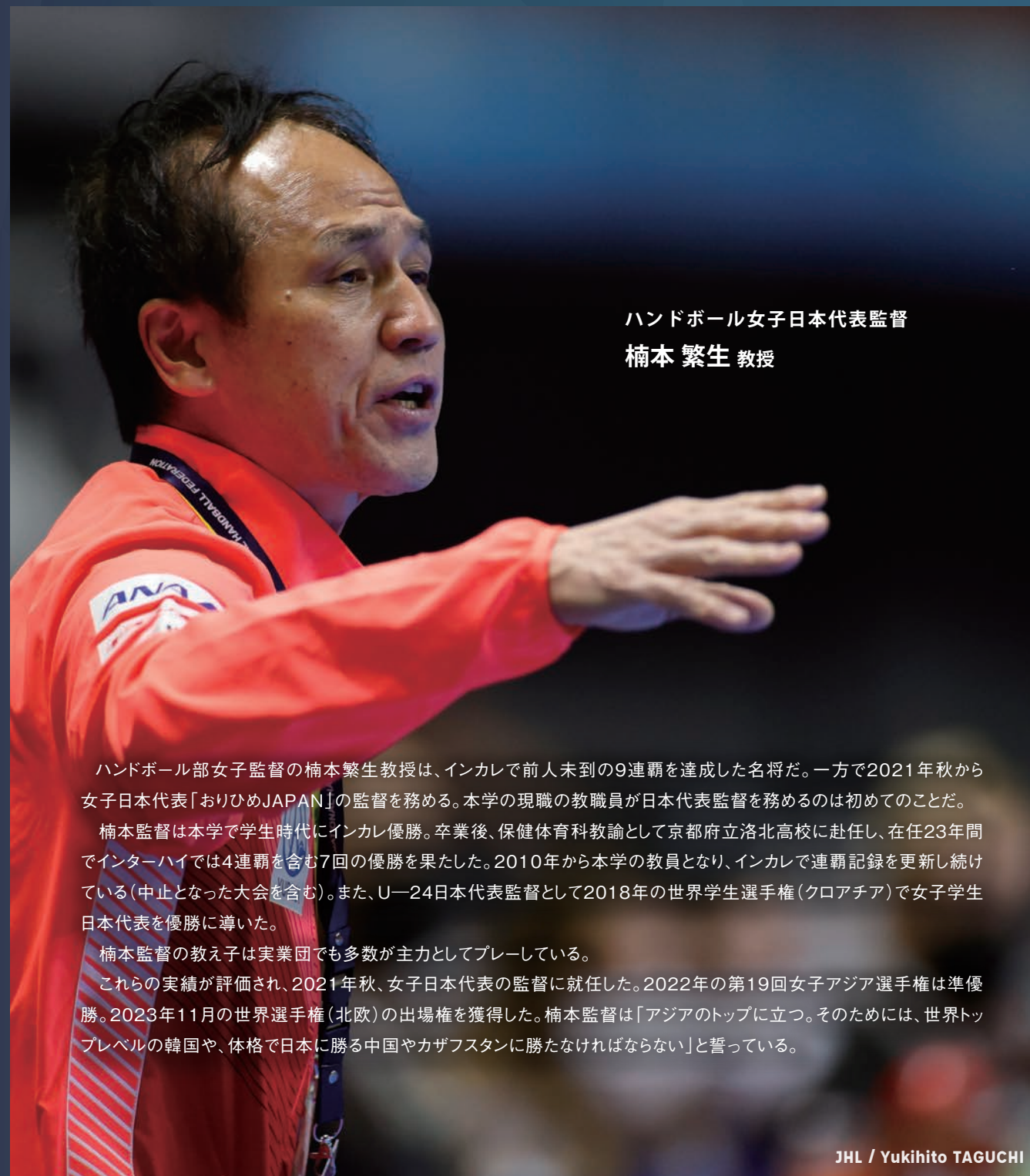
ローイング同好会

[部長]中尾 豊喜 [部員数]〈女子〉1名

※本学が定める学業成績基準を満たさない学生は、クラブ活動が制限されます。
※部長、監督名などは変更になる場合があります。部員数は2022年5月現在。

世界で戦う 大体大の指導者たち

大阪体育大学では、これまで多数の指導者が各競技の国際大会で代表チームの監督やコーチを務め、国際舞台で得た経験や蓄積を授業やクラブでの指導に活かしてきました。
世界を相手に戦ってきた大体大の指導者たちを紹介します。



ハンドボール女子日本代表監督
楠本 繁生 教授

ハンドボール部女子監督の楠本繁生教授は、インカレで前人未達の9連覇を達成した名将だ。一方で2021年秋から女子日本代表「おりひめJAPAN」の監督を務める。本学の現職の教職員が日本代表監督を務めるのは初めてのことだ。
楠本監督は本学で学生時代にインカレ優勝。卒業後、保健体育科教諭として京都府立洛北高校に赴任し、在任23年間でインターハイでは4連覇を含む7回の優勝を果たした。2010年から本学の教員となり、インカレで連覇記録を更新し続けている(中止となった大会を含む)。また、U-24日本代表監督として2018年の世界学生選手権(クロアチア)で女子学生日本代表を優勝に導いた。
楠本監督の教え子の実業団でも多数が主力としてプレーしている。
これらの実績が評価され、2021年秋、女子日本代表の監督に就任した。2022年の第19回女子アジア選手権は準優勝。2023年11月の世界選手権(北欧)の出場権を獲得した。楠本監督は「アジアのトップに立つ。そのためには、世界トップレベルの韓国や、体格で日本に勝る中国やカザフスタンに勝たなければならない」と誓っている。

JHL / Yukihiro TAGUCHI



柔道女子日本代表コーチ
生田 秀和 准教授

柔道部男子監督。筑波大学、ALSOKで選手、コーチを務め、2013年から全日本柔道連盟ジュニア強化コーチに。その後シニアも兼務し、アジア大会など国際大会で指導。男子を指導してきたが、2021年10月、柔道女子日本代表コーチに就任した。



バスケットボール男子
元 U22 日本代表
ヘッドコーチ
比嘉 靖 准教授

バスケットボール部男子監督。本学卒業後、松下電器(現パナソニック)のポイントガードとして日本リーグ新人王。大阪エヴェッサコーチとしてbjリーグ3連覇。ユニバーシアードは2大会出場。2018年から2年間、U22ヘッドコーチ。



テニス男子 2019
ユニバーシアード
日本代表監督
宮地 弘太郎 教授

テニス部男子監督。選手としてインカレ・シングルス優勝2回。1995年ユニバーシアード福岡大会シングルス銅メダル。1995~1999年まで日本代表(デビスカップ)としてプレー。ユニバーシアードは2005年(トルコ)から男子監督、2013年(ロシア)から男子ヘッドコーチ。19年は代表監督として女子団体とシングルスで金、男子・女子ダブルスで銅。



バレーボール女子 2019
ユニバーシアード
日本代表コーチ
長江 晃生 講師

バレーボール部女子監督。本学卒業後はVリーグでプレー。2010年には日本代表としてアジア大会で優勝。2019年からはユニバーシアード女子チーム(イタリア大会3位)でコーチを務めた。



ボッチャ日本代表コーチ
曾根 裕二 准教授

アダプテッド・スポーツ部部长。約10年前からボッチャの指導に取り組み、2014年のアジアパラ競技大会から日本代表コーチ。2022年12月、同部で指導する内田峻介選手(教育学部2年)が世界選手権B C4クラスで初優勝した。



剣道世界選手権女子元監督
神崎 浩 教授

剣道部男女総監督。選手として全日本学生優勝大会、全日本都道府県対抗優勝大会などで優勝。本学監督として全日本学生優勝大会で優勝2回、全日本学生選手権大会で優勝1回。2009年世界選手権は団体と個人を制した。

役職などは2023年3月現在



より科学的に。より実践的に。より高度に。よりプロフェッショナルに。

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科は1992年、体育系大学としては関西で初めて開設されました。スポーツ科学のさらなる発展と真のスペシャリストの養成をめざし、11学問分野(保健・体育科教育学、スポーツ史・哲学、スポーツ社会学、スポーツマネジメント、スポーツ心理学、アダプテッド・スポーツ、バイオメカニクス、教授学(指導方法学)、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学)では、指導教員の専門性に於いて5つの研究領域を対象とした学術的な研究と教育に取り組むことができます。また、スポーツ科学実践プログラムを導入するなど、時代の要請にあった実践的スペシャリストの養成にも力を注いでいます。

さらに、2022年度から「昼夜間講義」を導入し、夜間の講義は全国の体育・スポーツ系大学院で唯一オンラインで実施。全国どこからでも履修できるようになりました。

【研究領域・学問分野表】 大学院では学生が受験・師事する際に、学問分野と研究領域をもとに、より具体的に選択できるようにしています。

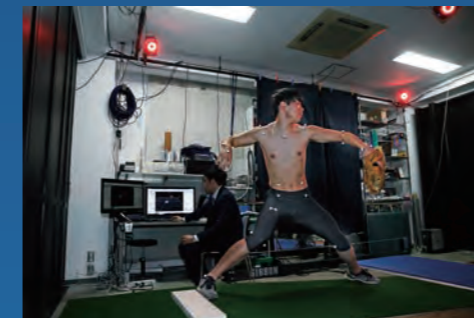
		研究領域					
		スポーツ文化	競技スポーツ	健康スポーツ	学校体育	レジャー・レクリエーション	
文化・社会科学領域	学問分野	保健・体育科教育学	—	小林	小林	小林・浜上	—
		スポーツ史・哲学	中房・森田	曾根・中房・森田	—	中房・森田	—
		スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
		スポーツマネジメント	富山・原田	富山・徳山 藤本	富山・徳山 原田・藤本	—	富山・徳山 原田・伊原・藤本
		スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅・平川	土屋 菅生・手塚・小菅・平川	土屋 菅生・手塚・平川	土屋 手塚・平川	土屋 手塚・平川
		アダプテッド・スポーツ	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内
身体運動・ コーチ科学領域	学問分野	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・貴嶋・藤原	下河内 貴嶋	石川 高本・貴嶋	—
		教授学(指導方法学)	神崎・白井	尾関・神崎・曾根・ 高本・藤原・宮地	神崎・貴嶋・白井	神崎・貴嶋・白井・高本	伊原
健康・医学領域	学問分野	スポーツ生理学	—	浜田 足立・三島	浜田 足立・三島	—	—
		スポーツ医学	—	前島・橋本	前島・橋本	前島	—
		スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村

補足事項：オレンジ色は博士前期課程の修士論文指導担当 / 緑色は博士後期課程の博士論文指導担当となります。 ※博士後期課程担当者は全員博士前期課程・修士論文も担当します。
※2023年3月の情報で変更となる場合があります。最新の情報はホームページをご確認ください。



総合実験室 [運動と環境]

総合実験室は、運動生理学、環境生理学、トレーニング科学の実験拠点であり、教育および研究施設として利用されています。特に注目すべきは、室温5℃～45℃、湿度30～80%、酸素濃度20.9%～を自在にコントロールできる常圧型低酸素仕様の環境制御室があり、その室内には、最高速度600m/分の傾斜角30%の高性能トレッドミルを設置しています。その他にも、全身持久力やエネルギー代謝測定を行うための呼気ガス分析器やローイングエルゴメーター、自転車エルゴメーターなどあらゆる運動負荷装置が完備され、呼吸・循環および代謝系の生体反応にアプローチできる総合的な実験施設です。



バイオメカニクス実験室 [身体のメカニズム]

バイオメカニクス実験室では、光学式カメラを用いたスポーツ動作の測定だけではなく、骨や筋腱など内部の形態や力発揮の情報も超音波筋腱撮像装置(エコー)や筋電計、力量計を用いたりリアルタイムフィードバックによる動作チェックが可能です。また、磁気刺激や誘発筋電装置、荷重調整装置を用いて、運動学習やトレーニングに関する脳や末梢神経系の効果を測定することができます。



スポーツ心理学実験室 [運動と精神のつながり]

スポーツ心理学実験室(B332-333)には、スポーツ活動に関するヒトの心理・生理・行動面を多角的に測定できる実験環境を整備しています。運動中の思考や感情などの精神活動を生体情報を利用して検討することが可能で、中枢神経系や末梢神経系などの電気的生理学的活動を測定するための脳波計・多用途生体記憶装置(ポリグラフ)や非観血式連続血圧計等が設置されています。また、ストレス・ホルモンを解析する装置や、眼球運動の測定装置なども備え、運動制御・運動学習、イメージ、感情、動機づけなど、アスリートの心理を読み解く研究に取り組める実験室です。



コーチ学実験室 [視聴覚を用いたコーチング]

スポーツコーチングの現場では、それぞれのスポーツ種目における専門的なトレーニングの一つとして「理論」や「戦術」を理解しイメージすることが重要です。コーチング系研究室とコーチ教育コースでは、各実験室にさまざまな分析装置を整備。ゲーム、画像の分析を行うゲームプレーヤーをはじめ、クラブ活動の戦術ミーティングでも使用される「ビッグパッド」を設置。PC画面や動画を映写したボード上で書き込みやパソコン操作が可能です。インターネットや動画、画像分析の環境も完備しています。

研究科長 挨拶 多様な研究ニーズに応える研究環境を活かして、体育・スポーツ科学の発展に寄与できる人材へ。



大学院スポーツ科学研究科長
博士(人間・環境学)
浜田 拓 教授
京都大学大学院人間・環境学研究所博士課程修了、米国のシガン大学ケネディ学術部筋生物学実験室ポスドク研究員、国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究部研究員を経て、2008年より現職。運動・トレーニングが身体機能に与える適応効果とその分子機序に関する研究に従事している。

大学院博士前期課程では、高度なスポーツ科学の知識をもち実践的な指導を行える専門家を、博士後期課程では、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行える研究者の育成をめざしています。体育・スポーツを多角的に捉え、社会のニーズに対応出来る質の高い人材を育成する為に、多様な教授陣を配しています。スポーツの持つ可能性を「広い視野」、「豊かな感性」、「発想力」を持って探求し、創造性に富んだ研究に挑戦できる受験生を待っています。

スポーツ活動のサポート体制

大阪体育大学には多様な附属施設などが設置され、スポーツ活動を手厚くサポートするほか、社会貢献や地域交流、国際交流事業に取り組んでいます。

スポーツ科学センター

5分野の科学で学生アスリートをサポート

スポーツ科学センターは学生アスリートを最先端のスポーツ科学でサポートするために設置されているセンターです。アスレティックトレーニング(AT)、ストレングス&コンディショニング(S&C)、心理、栄養、測定評価の5部門に分かれ、分野を超えて連携しながら、学生に助言や指導を行っています。

最近では、直線でのスプリント走を行う際に一歩ずつのステップ長や接地時間、速度などのデータを解析することでスプリント能力の改善に活かす「OptoJumpNext」を多数の球技関連の部の選手が活用。また、硬式野球部女子は投球や打球の球質を測定できる「Rapsodo」を練習に活かしています。

多数のクラブが5分野もの幅広い科学サポートを受ける本学の体制の実度は全国でもトップクラスといえます。



AT部門

S&C部門

心理部門

栄養部門

測定評価部門

▶ スポーツ科学センターサイト

▶ スポーツ局サイト

スポーツ局

全国に先駆けたクラブ統括部局

スポーツ局はクラブの統括組織として2018年に全国に先駆けて設置された部局で、学生アスリートや指導者に対し科学的知見を活用した競技向上支援や学生アスリートとして身につけるべき学修支援、怪我や事故を防ぐための環境整備など、総合的なサポートを担っています。

また、教職員や学生アスリート、施設など大学のスポーツ資源の効果的な運用や機能統合を図り、体育・スポーツ専門大学としてのブランドの構築を推進します。



DASHプロジェクト

DASH (Daitaidai Athlete Support & High Performance) はアスリートと指導者のパフォーマンス向上、質の高いスポーツ科学によるサポートを実現するプロジェクトです。本学の強みである「研究力」「教育力」「生活支援力」「キャリア支援力」をシステムティックに融合させ、新しい未来を切り開く「人間力」を備えたアスリート、指導者、教育者、研究者、マネージャー、サポート人材などの育成を目指します。

社会貢献・国際交流事業

社会貢献センター

地域社会とのつながりが教育・研究フィールドを広げる

社会貢献センターは教職員や学生、さらに大学施設を、学外の行政や組織、企業などと積極的に結びつけることで、スポーツ推進や学校教育・支援教育、地域づくりに貢献しています。地域社会とのつながりが学びの実践の場となり、教育・研究フィールドの広がりにつながっています。地域の住民を対象としたスポーツ・健康づくり教室や公開講座の実施、近隣の市町村や教育委員会等との連携によるスポーツ振興政策の立案、子ども達の体力づくり教室の実践などを行っています。

中でも、「キッズボーシャーズ」「子ども運動教室」は大学が運営する多目的型のスポーツプログラムで、近隣の幼児、小学生が活動しています。クラブの運営や指導には学生が主体的に関わり、地域スポーツクラブのマネジメント、子ども達への指導の両面から学びを深めています。

＜事業紹介＞

- 1 | OUHSスポーツキャンプ 2 | サンライズキャンプ 3 | ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク参加者調査 4 | 子どもの体力向上推進プロジェクト



「開かれた大学づくり」を目指して、地域の子どもの高齢者の方をキャンパスに招き、クラブ生らと一っしょにスポーツ体験などを楽しむイベントです。2022年度は「浪商学園100周年記念」として規模を拡大し、スポーツ体験教室やスポーツ体験コーナー、ステージパフォーマンスなど20以上のイベントを実施しました。

東日本大震災で被災された福島県南相馬市の人々との交流活動で、年3回の継続的な取り組みを行っています。健康増進プログラムやレクリエーション、子どもたちを対象としたスポーツ教室などを実施します。

ライフスポーツ財団からの受託研究事業で、親子参加型のウォーキングイベント「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク」の参加者調査を実施し、属性や満足度を明らかにします。調査結果はイベント企画者にフィードバックされ、今後のよりよいイベント運営に役立てられます。

近年、運動をする子どもとしない子どもの差が激しく、二極化が進んでいると言われています。本学では、子どもが運動を好きになるきっかけづくりをめざして、スポーツイベントを定期的に開催。バレーボールやドッジボール、マット運動などを通じて、身体を動かす楽しさを伝えています。

その他の主な活動

- 子ども運動教室
- 子どもスポーツクラブ「キッズボーシャーズ」
- 特別支援教育 教育講演会
- 特別支援教育 トワイライト研修会
- 学生ボランティア認定講習会
- OUHSサマーキャンプ
- OUHSスノーキャンプ
- 生涯スポーツカンファレンス
- くまもりロードレース

国際交流センター

海外の大学・教育機関との交流によるグローバル人材育成の支援

国際交流センターは大阪体育大学と海外の大学・教育機関との学術・学生・スポーツ交流の推進を目的として、2021年に設立されました。海外留学相談の総合窓口になります。海外の大学との交流を通して、大学の国際化の推進・グローバル人材の育成を目指します。2023年3月にはシンガポールの南洋理工学院と4件目となる交流覚書を締結しました。学年度ごとに最大30名の学生の交換留学を行い、インターンシップ、スポーツトレーニング、コミュニティ活動をテーマとしたワークショップなど様々な分野で交流活動を行います。



<p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本学学生の海外留学・海外研修 ●本学に在学する外国人留学生の受け入れ・生活支援 ●海外の大学との教育・研究・学生交流の推進 	大阪体育大学の海外交流先	
	西安体育学院	中国
	ウエスタン大学	カナダ
	台湾国立体育大学	台湾
	南洋理工学院	シンガポール



Campus Life



大阪体育大学では、年間を通してイベントが盛りだくさん。
一つひとつの経験が、きっとあなたの財産になるはずです。

大学祭「雨山祭」

大阪体育大学の大学祭「雨山祭」は10月に2日間、熊取キャンパスで開催され、多くの学生や地域の方々が参加して盛り上がります。
2022年は第55回雨山祭を10月29、30日に開催。感染症対策で2年間は1日のみでしたが、3年ぶりに2日間開催に。著名なお笑い芸人多数を招いたライブや

各種イベント、スポーツ大会が企画され、キッチンカーのグルメやバザーなどが人気を集めました。
雨山祭は、1年生が実行委員会の中心になってイベントを企画することが伝統です。皆さんも貴重な体験をしてみてください。



ACADEMIC CALENDAR

4月 April

- ・入学式
- ・新入生オリエンテーション
- ・履修登録
- ・前期通常授業開始
- ・健康診断

5月 May

- ・マナーアップ
キャンペーン

6月 June

- ・開学記念日
- ・教育実習(4年生)

7月 July

- ・前期通常授業終了
- ・前期定期試験

8月 August

- ・夏季休業
- ・前期追試験
- ・キャリアフェスタ(3年生)
- ・アドベンチャー
キャンプ実習(予定)
- ・野外活動実習I
(教育学部)

9月 September

- ・集中講義
- ・前期終了
- ・後期通常授業開始
- ・教育学部:
教育実習(3年生)
- ・マリンスポーツキャンプ
実習(予定)

10月 October

- ・大学祭(雨山祭)

11月 November

- ・学園創立記念日

12月 December

- ・冬季休業

1月 January

- ・後期通常授業終了
- ・後期定期試験

2月 February

- ・後期追試験
- ・キャリアフェスタ(1・2年生)
- ・スノースポーツ実習(予定)
- ・野外活動実習II
(教育学部)

3月 March

- ・卒業式
- ・春季休業
- ・後期終了
- ・ゴルフ実習(予定)



Access

自然豊かな環境で学ぶ大阪体育大学での4年間。

天王寺駅から
大学最寄り駅の熊取駅まで
約32分と便利なアクセスが魅力!

大阪都心部から1時間ほどの位置にある大阪体育大学は
とてもアクセスに便利な環境です。
キャンパスは自然豊かな丘陵地にあり、通学だけでなく、
休日にも友人とショッピングに気軽に出かけることができる
環境が整っています。

大阪府 泉南郡 熊取町はここ!

熊取町は大阪都心部から約30km

の距離にあり、関西国際空港のある 伊丹空港 ● 新大阪駅 ● 梅田 ● 天王寺

泉佐野市の東隣に位置しています。

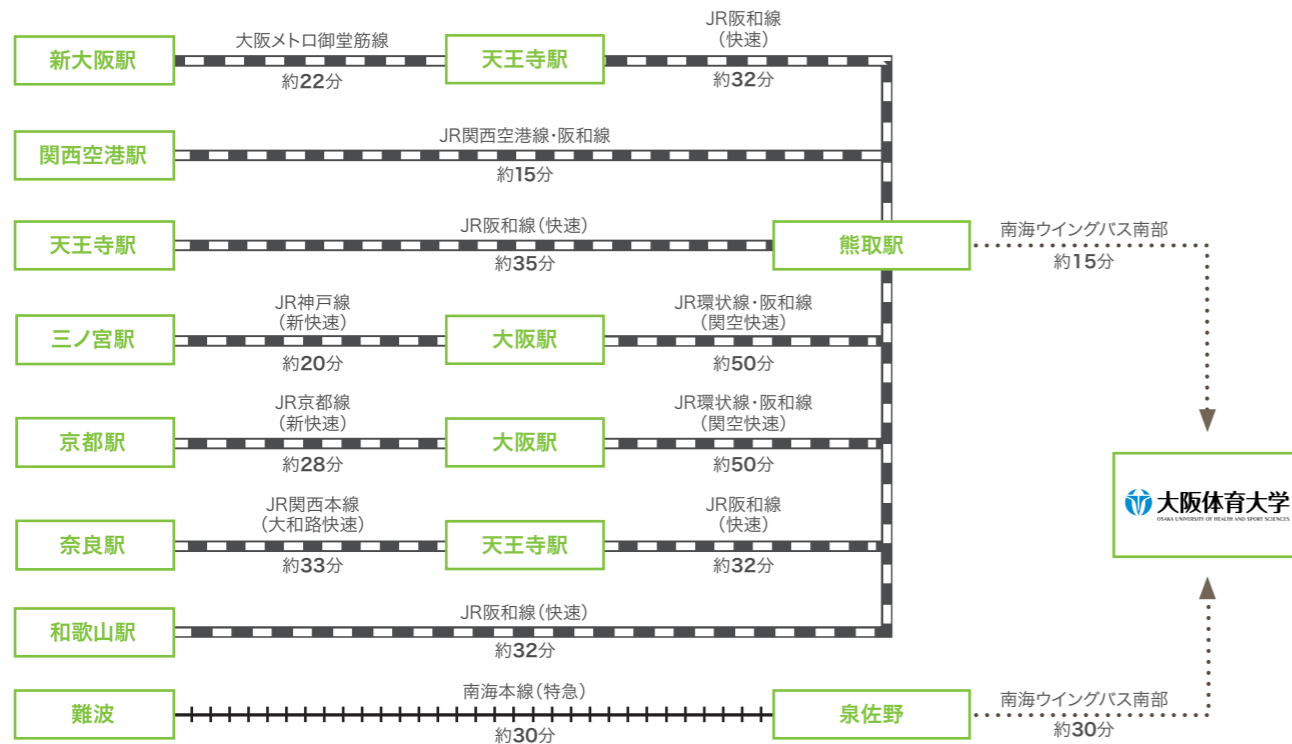
人口は4万3千人ほどの町で、自然豊かな環境に囲まれています。

関西空港 ● ★熊取町



School Commute

通学方法



※ 記載のルートとマップの所要時間は日中平常時の目安のため、時間帯により異なります。また、待ち時間や乗り換え時間は含まれておりません。

School Commute

熊取町内には数多くのマンション・アパートがあります。

学生マンション

大阪体育大学がある熊取町や近隣には、学生向け、ひとり暮らし向けのマンション・アパートが数多くあります。徒歩もしくはバイクや自転車での通学も可能です。入学予定者には「お部屋探しガイドブック」データ版をご案内する予定です。

クラブハウス

剣道部(男子)、剣道部(女子)、サッカー部(男子)、ラグビー部(男子)、バスケットボール部(女子)、体操競技部(男子)にはクラブハウスがあります。
※家賃はクラブによって異なります。



ひとり暮らし



地元熊本県を離れて大阪へ。
すべてが初めてでしたが、今では快適に過ごせています。

教育学部 教育学科 保健体育教育コース3年
山中 彩友美さん
熊本県立清々高等学校 出身

地元熊本県から大阪へ。自然が広がるのどかな風景は、どこか地元
に似ているため安心感があります。都市部へのアクセスも、電車に乗
れば一本で、天王寺やりんくうタウンなどへ気軽に出かけることができ
るのも魅力的です。自炊では、肉じゃがをつくった日には、次の日には

残った肉じゃがにルーを入れてカレーにするなど、ひと工夫を凝らして
います。今では快適に過ごしているひとり暮らし。将来は法務教官を
めざして、九州に戻ることを考えているので、残り1年で京都や奈良な
どの近隣県にも出かけ関西を満喫したいです。

ご家族・
ご関係者の皆さまに
知っていただきたいこと



ここが安心、大体大のサポート

学生相談室・ スポーツカウンセリングルーム



学生相談室では、学業やクラブ活動、対人関係など、さまざまな相談に応じています。さらに、運動してスポーツカウンセリングルームも設置しています。臨床心理士やスポーツメンタルトレーニング指導士をはじめとするスポーツカウンセラー資格をもつスタッフが学生の大学生活や進路、個人的な悩みなどにも親身に回答しています。

診療制度 ケガや事故に備えたサポート



学内に大阪体育大学診療所を設置し、整形外科、内科の医師である教員が常駐しています。応急処置はもちろんのこと、レントゲン設備も完備し、保険診療を行っています。治療後のリハビリテーションもアスレティックトレーニングルームで対応するので、現場復帰までのサポート体制が整っています。(64ページ参照)

医療費補助制度など ケガや事故に備えたサポート

ケガや事故などに備えて、全学生を対象に、(公財)日本国際教育支援協会が運営する「学生教育研究災害傷害保険」と「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。診療所での保険診療の自己負担分は、大阪体育大学教育後援会「傷害治療援助」制度でカバーします。

大体大でめざせる将来像と資格 53ページからご覧ください

キャリア
情報



免許
資格



学費 入学時、2年次以降に必要となる費用です。

◆1年次/2年次以降に必要となる費用 スポーツ科学部・教育学部(2024年度予定)

	1年次				2年次以降
	年 額	前 期	後 期		年 額
入 学 金	250,000	250,000	—	入 学 金	—
授 業 料	960,000	480,000	480,000	授 業 料	960,000
施 設 費	230,000	115,000	115,000	施 設 費	230,000
教 具 ・ 教 材 費	12,000	12,000	—	教 具 ・ 教 材 費	12,000
図 書 費	10,000	10,000	—	図 書 費	10,000
学 友 会 入 会 金	5,000	5,000	—	学 友 会 入 会 金	—
学 友 会 費	7,000	7,000	—	学 友 会 費	7,000
同 窓 会 入 会 金	20,000	20,000	—	同 窓 会 入 会 金	—
教 育 後 援 会 費	12,000	12,000	—	教 育 後 援 会 費	12,000
計	1,506,000	911,000	595,000	計	1,231,000

上記の他に学外実習費が必要です。費用は学外実習時に別途徴収いたします。

※単位(円)

奨学金

学生が勉学やスポーツに打ち込み、充実した大学生活を送ることができるように、日本学生支援機構や本学独自のものなどさまざまな奨学金制度が整備されています。本学では例年、半数以上の学生が奨学金制度を利用しています。

●大阪体育大学独自の奨学金制度

◆スポーツ奨学金制度

スポーツ特別総合型選抜入試合格者のうち、特に競技力に優れている者を対象とした奨学金制度です。授業料や施設費等の免除を受けることができます。

◆入学試験成績優秀者奨学金制度

スポーツ科学部・教育学部の一般選抜2教科型合格者のうち、入学試験成績上位の若干名が1年次の授業料全額免除を受けることができます。

●日本学生支援機構奨学金制度

学力・人物・家計などの推薦基準により学内推薦を受け、日本学生支援機構による審査を経て採否が決定する奨学金制度です。募集はすべて学内メールで告知します。

◆学業成績優秀者奨学金制度

各年次の成績上位者を若干名選考します。選ばれた学業成績優秀者は次の年次の授業料全額免除を受けることができます。

◆浪商学園創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)

2021年の学園創立100周年を契機に、浪商学園の発展に大きく尽力した野田三郎氏の功績をたたえ、建学の精神を尊び、人材の育成に資することを目的に設立した奨学金です。学業成績優秀者に対して学資金援助を行います。

●民間団体などの奨学金制度

民間団体などによる奨学金制度で、入学試験の成績、高校時代の成績など厳しい条件が付きまします。募集はすべて学内メールで告知しますが、地方自治体が定める奨学金は自治体のHPなどでご確認ください。

貸与型(返還が必要)

貸与種別	年次	募集時期	出願資格	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	1年生	毎年 春	高校の最終2カ年の 評定平均が 3.5以上の者	自宅：54,000円 (または2・3・4万円)
	2年生 以上	毎年 春	大学の前年までの 成績が 上位1/3以内の者	自宅外：64,000円 (または2・3・4・5万円)
第二種奨学金 (有利子)	1年生	毎年 春秋	優れた学生であって 経済的理由により 修学困難な者	2~12万円の中から 選択
	2年生 以上	毎年 春秋		

※詳しくは、日本学生支援機構のホームページ(奨学金の制度・貸与奨学金)をご覧ください。

給付型(返還が不要)

2020年4月から国の修学支援新制度として始まりました。世帯収入要件に合う学生を対象とした、授業料と入学金の免除または減額や、給付型奨学金(返還が不要)などがあります。

※詳しくは、日本学生支援機構のホームページ(奨学金の制度・給付奨学金)をご覧ください。



土屋 裕睦 教授

長積 仁 学部長

松岡 宏高 学術院長・学部長

特別対談

本学OBの研究者と語り合う／ スポーツ系学部の未来

1965年に西日本初の体育大学として開学した大阪体育大学は、2024年体育学部がスポーツ科学部に生まれ変わり、スポーツの総合大学として新たな一歩を踏み出します。体育・スポーツ系学部の未来について、大阪体育大学の体育学部、大学院を卒業・修了し、現在は立命館大学スポーツ健康科学部の学部長を務める長積仁教授、早稲田大学スポーツ科学学術院の学術院長・スポーツ科学部の学部長を務める松岡宏高教授の先輩お二人に本学にお越しいただき、本学の土屋裕睦教授がうかがいました。

＜土屋＞ウエルカムホーム！ようこそ母校、大阪体育大学へ。大学時代、大学院時代の思い出を教えてください。
 ＜長積＞保健体育の教員になって高校で野球の指導をしたいと思い、大阪体育大学に入学しましたが、保健体育の教員は、部活動指導をするために存在するのではなく、生徒が体育を好きになり、身体を動かす楽しさや喜びを伝えることが大切な使命だと教えられ、衝撃を受けました。3年生の時、現学長の原田宗彦先生が赴任され、先生の仕事のお手伝いをするうち、進学・留学のことを考え、スポーツマネジメントを研究する道に



早稲田大学
スポーツ科学学術院・
スポーツ科学部

松岡宏高学術院長・学部長

大阪体育大学体育学部

土屋裕睦 教授



進みました。

＜土屋＞プロフェッショナルな保健体育教師を育成する大学の姿勢に驚かれたのですね。

＜長積＞保健体育の教員を育成する一義的な目的は、生徒が体育を楽しみ、心身の健全に寄与すること。保健体育の教員になるのは、そのような覚悟が必要なのだと知らされました。

＜松岡＞私も別の大学で体育科教員になるつもりでしたが、当時、スポーツの商業化が進み、スポーツビジネスに興味を持ちました。まだスポーツマネジメントという言葉はない時代で、ゼミの先生から「大阪体育大学にアメリカで勉強したスポーツマーケティングの先生がいる」と教えられ、それが原田先生でした。大阪体育大学の大学院で原田先生から学びましたが、大学院では、何よりも学生と先生の距離が近かった。また、大阪体育大学は教員の意識が海外に向いていて、先生方に背中を押されて留学しました。今の職場でも国際化を求められているので留学経験は大いに役立っています。

＜土屋＞大阪体育大学は「スポーツの総合大学」です。両学部合わせて70名前後が現役で教員採用試験に合格し、教員養成は本学として今後も揺るぎないものですが、一方でスポーツ科学の世界は様々な分野に広がっています。先生方の教え子は、どのような分野で活躍されていますか。

＜長積＞本学のスポーツ健康科学部では、入学時は約50%が保健体育の教員を目指していますが、学年が進むにつれて視野が広がるのか、教員を目指す学生は減少し、卒業時に教員になるのは、多くて10名ぐらいでしょうか。8割が民間企業に進み、製造業や卸売・小売業への就職率が高く、とりわけ、医療・医薬品メーカーや食品・飲料メーカーを志す学生が多いですね。就職先は多岐に渡って

おり、「スポーツ健康科学部なのになぜ？」とよく質問されます。私たちは、キャリア教育を通じて、スポーツ健康科学は、人々の身心の健康や幸福にかかわる学問であるため、どのような領域や企業に就職しても、学んだことを活かすことができるかと学生に伝えています。スポーツ健康科学が人々に社会にどのように貢献できるのかをイメージし、その手立てを考えることが、社会で羽ばたくために重要なのだと思います。

＜松岡＞早稲田大学スポーツ科学部でもほとんどが一般企業に就職します。プロの球団でマネジメントの仕事に就く例もありますが、一般企業に就職する学生が多いですね。また、体育・スポーツ系の学部が増えてきた中で、

スポーツ系の大学はその方向性・ビジョンを変えていく必要があるのではないのでしょうか。海外の体育・スポーツ系の大学と交流する中で、「スポーツで世界を変える」などと明確にミッションを掲げている学部もあります。スポーツを通して社会をどう良くしていくのかを考える人間を育てていくことが重要だと考えています。

＜長積＞おっしゃる通りで、大阪体育大学が「スポーツの総合大学」を打ち出されるのなら、スポーツそのものの進化や発展と同時に、スポーツを通じたよりよい社会の形成を目指していただきたいと思います。

＜土屋＞スポーツ科学を学んだ人材の未来はとても明るいということですね。では、最後に母校へのメッセージをいただけたら。

＜長積＞体育には体育の良さがあり、学部から体育の名が消えることに寂しい感じはありますが、サイエンスをより志向する大学へと進化を遂げようとするのだと思います。大阪体育大学での学びや経験が私の礎になっていますし、後輩になるみなさんにも、ぜひ、いまここにない未来を切り拓く人になってほしいと思います。

＜松岡＞卒業後も大学院で学ぶことを検討してはどうでしょうか。大阪体育大学には国際的な感覚を持っている先生がたくさんいらっしゃる。これからの若い人は、国際的な感覚を持つことは体育の教員を含めても必要です。大阪体育大学の大学院はそのような勉強ができる環境です。



長積 仁(ながつみ・じん) 1989年、大阪体育大学体育学部卒業。立命館大学スポーツ健康科学部学部長。スポーツマネジメント専攻
 松岡 宏高(まつおか・ひろたか) 1995年、大阪体育大学大学院体育学専攻修士。早稲田大学スポーツ科学学術院学術院長、スポーツ科学部学部長。スポーツマネジメント専攻
 土屋 裕睦(つちや・ひろのぶ) 大阪体育大学体育学部教授。スポーツ心理学専攻

進化し続ける「スポーツの総合大学」に 大阪体育大学学長 原田 宗彦



少子化に歯止めがかからない日本では、これまでの「大学が学生を選ぶ時代」から「学生が大学を選ぶ時代」へと、大きなパラダイムシフト(考え方の変化)が進行しています。今後、全国の大学にあるスポーツ系学部・研究科がさらに発展していくには、学生から選ばれる魅力あるカリキュラムの開発とともに、学生の能力を最大限に伸ばしていく教育力、そして新しい知識を創造するための研究力が不可欠になってきます。少子化の進展とともに、社会の状況も刻一刻と変化しており、大学受験を目指す高校生のニーズ(欲求)も変化しています。大学は今後、そのような動きに敏感に対応するために、日常的な改善を継続しなくてはなりません。よって今回、総合大学の立場からスポーツ系学

部・研究科の将来についてお話しいただいた内容は、とても示唆に富んだものでした。今後、学部の名称を「スポーツ科学部」に変更するとともに、「スポーツの総合大学」として、長積仁先生のお言葉を借りれば、まさに「今ここにない未来を創造するため」に、本学も多くの改革を積み重ねていきたいと考えています。さらに松岡宏高先生が指摘されたように、スポーツを通じて社会を変えていくという方向性も重要です。本学では、「スポーツで社会を幸福にする」というスローガンを掲げているので、その実現に向けて着実に改革を進め、「学生から選ばれる大学」を目指して一歩一歩前に向かって進んでいきたいと考えています。